

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養
氏名	田川 辰也、銀光

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
管理栄養士演習 I	4	前期	必修	いいえ	102

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①4年生になって、国家試験の受験を目標に、公衆衛生学および病態医学の知識が問われるようになってくる。チーム医療の一員として栄養士、管理栄養士に必要な公衆衛生学および病態医学知識および考え方を修得し、国家試験問題に対応できるように心がけた。</p> <p>②初回の授業の最初に学習準備ため、シラバスを用いてオリエンテーションを行った。</p> <p>③授業の最初にテストを行い、その後テストの解説を行い、学生の意識を高め、学習状況を確認するようにした。</p> <p>④授業で使用する配付資料を昨年より修正し、よりわかりやすい内容とした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された		達成された	
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	<p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<p>①本試験の成績の平均値は79(±11)であり、本試験にて、受験者全員が合格した。理想的レベル(概ね80点以上として試験を作成)に達したものは60%をであった。</p> <p>②昨年度と比べると、本試験の平均点は5点低下した。</p> <p>③学生による授業評価においては、「わかりやすかった。」「スピードがよかった。」という意見をいただいた。今後とも、わかりやすく、復習しやすい資料作りと授業内容に心がける。</p> <p>以上から、教育目標は達成されていると考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「専門応用科目」であり、管理栄養士必修科目である。すなわち管理栄養士国家試験を受験するには必須であり、学生の受講動機は国家試験受験資格を取得するためである。授業内容は国家試験に出題される内容であり、重要性は学生にしっかり伝えてある。定期試験にて学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から、知識判断、思考判断、態度に関する達成度が高かった。毎年国家試験の動向を見ながら、内容を修正しており、内容的には妥当であったと考えられる。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均が3.3、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたと意欲をもつことができた」の平均が3.3と高かった。学生の成績を踏まえて判断すると、授業の目標は達成できたのではないかと考えられる。次年度に向けては、さらに知識を深める努力をするともに、学生がより学習意欲を持ち、国家試験に臨めるモチベーションを持てるように改善していきたいと考える。</p> <p>学生の意見としては、「国家試験」に向けた、授業内容として評価されているようである。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>専門応用科目にあたる本科目の位置づけから、基礎的知識の形成については達成でき、思考判断の面でも課題は達成できた。今後、結びつきの強い科目である後期の「管理栄養士演習Ⅵ」に引き継いでいく予定である。</p> <p>授業過程を振り返ってみたとき、毎回授業の最初にテストを行ったことで、学生が考察、検討する時間できた。今後は予習課題の提示などで改善を図りつつ、復習をやりやすくするなど、さらなる改善に努めたい。</p> <p>以上から、毎回の授業のねらいを具体的に示すこと、テストで考える時間をとり、復習課題を意識的に提示するようにすることを今後とも続けていきたい。</p> <p>配布物(授業の参考資料)に関しては、学生の意見を積極的に取り入れ、後期の「管理栄養士演習Ⅵ」や来年度にむけて改善を行いたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養
氏名	田川 辰也

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
疾病診断治療学 I	2	前期	必修	いいえ	94

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①2年生になって、専門科目の履修が増加し、特に医学的知識が問われるようになってくる。チーム医療の一員として栄養士、管理栄養士に必要な基礎的な医学知識および考え方を修得できるよう心がけた。</p> <p>②初回の授業の最初に学習準備ため、シラバスを用いてオリエンテーションを行った。</p> <p>③授業の最初と最後に小テストを行い、学生の復習への意識を高め、学習の進捗状況を確認するようにした。</p> <p>④授業で使用するスライドのレジュメを昨年より修正し、よりわかりやすい内容とした。</p> <p>⑤学生の予習、復習については、予習した学生は40%を下回ったが、復習した学生は50%を超えた。自由記述では、「授業はわかりやすかった。」という意見をいただいた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された			
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<p>①本試験の成績の平均値は78(±11)点であり、再試験後の不合格者は2名であった。理想的レベル(概ね80点以上として試験を作成)に達したものは約60%であった。</p> <p>②昨年度と比べると、本試験の平均点はほぼ同じで、再試験受験による不合格者も2名と同じであった。</p> <p>③学生による授業評価においては、「とてもひきこまれるような授業でした。」「授業がとてもわかりやすかったです。」「説明がユニークで、覚えやすかったです。」「説明がいつもわかりやすくて、授業が楽しいです。」「とてもわかりやすくて、興味を持って授業を受けることができました。」など、ポジティブな意見をいただいた。今後とも、わかりやすいスライド、資料、授業に心がけるとともに、授業前後の小テストを続けていきたいと考える。</p> <p>以上から、教育目標は達成されていると考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性 本科目は「専門基礎科目」であり、必修である。国家試験に多く出題される内容であり、重要性は学生にしっかり伝えている。学生も復習に力を入れており、定期試験にて一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>②DP, 行動目標からみた内容的妥当性 成績評価から、知識判断、思考判断、技術表現、態度に関する達成度がすべて高かった。課題された領域はすでに内容を修正しており、すべての領域において成績は上昇したことから、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①授業の質評価において、「自分なりの目標を達成した」の平均が3.5、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均が3.8と高かった。学生性の成績とを踏まえて判断すると、授業の目標は達成できたのではないかと考えられる。次年度に向けては、さらに知識を深める努力をするとともに、質問がもっと増え、学生がより積極的に授業に参加できるよう改善していきたいと考える。</p> <p>②学生の意見としては、「テストは難しそうですが、頑張ります。」などの意見をいただいた。今後とも、範囲が広く、難しい内容であるが、さらにわかりやすい授業になるよう改善していきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>①専門基礎科目にあたる本科目の位置づけから、基礎的知識の形成については達成でき、思考判断の面でも課題は達成できた。今後、結びつきの強い科目である後期の「疾病診断治療学Ⅱ」に引き継いでいく予定である。</p> <p>②授業過程を振り返ってみたとき、授業の最初と最後に復習・確認の小テストを行ったことで、学生が検討を加える時間できた。予習課題の提示などで改善を図りつつ、さらなる改善に努めたい。</p> <p>③以上から、毎回の授業のねらいを具体的に示すこと、小テスト等で考える時間をとり、復習課題を意識的に提示するようにすることを続けていきたい。</p> <p>④配布物(授業のスライドのレジュメなど)に関しては、学生の意見を積極的に取り入れ、来年度に改善を行いたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養
氏名	田川 辰也、南里 宏樹

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
臨床栄養学実習 I	3	前期	必修	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①3年生になって、実践が問われる専門科目の履修が増加し、特に医学的知識が問われるようになってくる。チーム医療の一員として栄養士、管理栄養士に必要な臨床的な医学知識および考え方を修得できるよう心がけた。</p> <p>②授業の最初に学習準備ため、オリエンテーションを行った。</p> <p>③授業の終了後レポートの提出を義務づけ、学生の復習への意識を高め、学習状況を確認するようにした。</p> <p>④授業で使用実習書を昨年より修正し、よりわかりやすい内容とした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①実習の成績の平均値は田川担当が42(±3)点(50点満点)、南里担当が43(±2)であった。出席不足の1名だけであった。理想的レベル(80%以上の得点)に達したものは田川担当で82名、南里担当で84名、総合で87名と90%を超えた。昨年度と比べると、平均点はほぼ同等であった。</p> <p>②学生の授業評価アンケートにて、「自分なりの目標を達成した」の平均点が3.4点と高く、おおむね自分なりの目標を達成できていると答えている。この点からも、教育目標は達成されたと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「専門応用科目」であり、必修である。国家試験の応用問題に多く出題される内容であり、重要性は学生にしっかり伝えている。レポートにて学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考ええる。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 学生の成績は非常に高いことから、内容的には妥当であったと考ええる。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①到達度自己評価において、「自分なりの目標を達成した」など10項目中7項目で平均が3.4、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均が3.5と高かった。学生の成績の高さを踏まえて判断すると、授業の目標は達成できたのではないかと考えられる。次年度に向けては、さらに知識を深め、技術を身につける努力をするとともに、学生がより積極的に実習に参加できるよう改善していきたいと考える。</p> <p>②学生の意見としては、「忙しかった。」と、なかなかレポート作成に苦労したことがうかがえる。</p> <p>③インターネットを利用した学生は32%であった。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>①専門応用科目にあたる本科目の位置づけから、臨床的知識の形成については概ね達成でき、思考判断の面でも課題は達成できた。今後、結びつきの強い科目である後期の「臨床栄養学実習Ⅱ」に引き継いでいく予定である。</p> <p>②授業過程を振り返ってみたとき、レポート課題を課したことで、学生が検討を加える時間できた。予習課題の提示などで改善を図りつつ、さらなる改善に努めたい。</p> <p>③毎回の授業のねらいを具体的に示すこと、レポートの課題の改善にて復習課題を意識的に提示するようにすることを続けていきたい。</p> <p>④配布物(実習書など)に関しては、学生の意見は取り入れ、来年度に改善を行いたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	久保田 理

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キリスト教学 I	1	前期	必修	はい	78

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①1年生の必修科目であるため、受講動機はその点に集中している。 ②チャペルアワーと関連付けられた科目であるため、聖書を読むこと、讃美歌を歌うこと、祈禱をすることの実践を毎回の授業で行うことで、チャペルアワーへの出席意識を高める。 ③キリスト教に対する理解を持つことを目的に、キリスト教の礼拝で行われていることについて段階的に講義を行う。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均点は92点であり、再試対象は0名であった。 全員が標準的レベルに達していた。 知識理解という点では十分な理解が得られたと考えられる。 実践の点では授業期間中に提出する「教会訪問レポート」を実施することで、キリスト教礼拝を体験することが授業内容の確認につながったと考えられる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性 本科目は「総合人間科学」の「文化と宗教」であるが、本学の建学の精神である「感恩奉仕」を学ぶ科目であり、必修である。多くの学生がキリスト教に馴染みがないため、社会との接点を示しながら理解の助けとしたことから、内容的には妥当であると考えられる。 ②DP、行動目標からみた内容的妥当性 成績評価から達成度は十分と判断出来ることから、内容的には妥当であると考えられる。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価における平均値は問題がないと考えられる。 学習量の評価では、予復習時間時間の解答に「0回」が多かったこと、また自発的学習の解答に「していない」が多かったことから、授業の内容をチャペルアワーに明確に関連付けることが必要であると考え。 また、学生の意見でも「何をすれば良いかわからない」があったことから、この点は課題とすべきであると考え。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>キリスト教主義学校としてキリスト教理解の入り口となるのが本科目の位置付けである。その意味では知識理解の形成では達成出来た。また、チャペルアワーの出席と合わせて、キリスト教礼拝の実際にもふれる機会があり、理論と実践の実施も出来ている。キリスト教の価値観を学ぶことは、新しい視点を得ることにもつながり、判断の多様化を促すことにもなっている。 ただし、そのことを得たと実感することは別になっている面もあり、本科目の課題として考えていきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	金 銀英

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ハングル I	1	前期	選択	はい	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本講義は韓国語学習歴がない学生を対象に韓国語の基礎を身につける事を目標としている。ハングルの読み方とその正確な発音、文構造の理解、数字の使い方などの基礎を身につけ上級クラスへ進められる知識と身につけられるよう授業を進めてきた。</p> <p>学期始めに実施したアンケートで「韓国語を学びたかった」などの積極的な受講動機もあったが、「時間が空いたから」「簡単そうだから」などの動機もあり、学習に対する姿勢に差がある事が事前に分かったため、興味を持続けるよう韓国の小話やk-popを授業に取り入れた授業にした。</p> <p>また中間試験や小テストの実施で学生の理解を確認しながら授業を進めた。また復習項目と次回講義の予告をする事で自習を促した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績平均は66だった。</p> <p>授業評価においても「知識を新たに得ることができた」で高い満足度が見られ、講義が重点を置いている点と学生の満足とが一致する結果が得られた。</p> <p>栄養学科は専門科目での学習量が膨大なため、外国語の「ハングル」は出来るだけ授業時間内に完結するような講義構成をした。必須復習事項を毎時間の終わりに提示し、不定期の小テストと中間テストの実施で学生の理解を確認した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>CP, カリキュラムマップ上の位置づけから見ると内容的妥当性試験の結果で見られるように第二外国語として目標とした成果を挙げられたので、内容的に妥当性があると考えられる。</p> <p>DP 授業中、学生達から受けた印象もさることながら、到達度自己評価でも高い評価を得ているので妥当性があると考えられる。</p> <p>まとめ 以上のことから内容的妥当性には問題ないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>初級という授業の特徴上、学生間やり取りが難しいが、韓国語会話の時間を増やすなどコミュニケーションの機会を増やすように努めた。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>第二外国語として学習歴のない学生を対象に、基本となる話す・聞く・書く・読む力をつけることが目標だった。その目標を達成できたことにより次の「ハングルⅡ」に進むに不足しない実力がついたと思われる。来年度も引き続き良い成果を挙げられるようにがんばりたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	山田 志麻

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
フードコーディネート論	3	前期	選択	いいえ	76

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①この科目はフードスペシャリスト認定試験受験資格として必要な必修科目である。そのため「専門教育科目」、「専門基礎分野」の選択科目である。必要科目12科目のうち、この科目を含む2科目のみ3年前期で開講され、その他の科目は2年生までに履修済みである。そのため学生にとっては計画的に学習が進めにくいのではないかと予測される。</p> <p>②今回の受講動機をみると「資格取得に必要である」が72.2%と資格取得の意志が強く見受けられる。</p> <p>③出題範囲の講義を行い、その後、過去問を配布し、繰り返し学習するよう促した。また、2年生までにすでに履修した科目の復習をすすめ、認定試験の概要について説明し、学習意欲を促すように努めた。</p> <p>④食品開発やフードコーディネートに興味を持つきっかけ作りとして、外部講師による「食の企画と実践」の講義を行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	<p>学生の自己評価到達度では「知識を確認、新たに知ることができた」が3.5点と高く、認定試験合格に寄与していると考えられる。また、成績平均値は83.8±7.2点と全員がほぼ理想レベルに達した。理想レベル(概ね80点以上として試験を作成)に達していたのは75名中55名とまずまずの結果だった。他の科目と異なり、出題内容や出題傾向が過去問等で開示されており、また、認定試験の12科目の1科目にすぎないため、過去問を繰り返し学習することで、高得点が期待される。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「専門基礎科目」、「専門基礎分野」の選択科目で、フードスペシャリスト認定試験受験資格として必要な必修科目である。授業準備の欄で指摘したように受験に必要な科目12科目のうち、10科目は2年生までに履修済みで、本科目を含む2科目のみ3年前期に開講される。そのため、12月に試験が実施されるまでの動機付けに苦慮する面がある。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 過去問をよく学習しており、問題内容もよく熟知され、問題数も少ないため成績が非常に良かった。</p> <p>③まとめ 以上から、認定試験用の受験科目の1科目としては内容的妥当性に問題はないと思われる。ただし、すでに履修済みの科目10科目の学習においては、学科として、過去問の印刷物の配布や自主学習の意欲向上に努めなければならない。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>認定試験受験科目のため、講義の内容として、過去問出題率の高い項目に関して特に重点を置いて学生に周知させたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>過去問を中心としたテスト内容で平均91点を獲得していたため、来年度の講義内容も今年に準ずることとする。ただし、課題としては、過去の出題が多い過去問内容に重点をおき、また、講義内容が単調にならず、飽きさせないようスライド等の工夫を行う。さらに、複数回の小テストの実施により、問題に慣れされることが合格レベルに達する近道であるとする。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	古田 吉史

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
フードスペシャリスト論	1	前期	選択	いいえ	65

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①フードスペシャリスト論は、フードスペシャリスト資格の導入科目であり、取得を目指す学生や資格に関心のある学生が多く受講している(学生の受講動機からも読み取れる)。但し、フードスペシャリスト自体が学生らにとって馴染みのない資格であるため、1限分をフードスペシャリスト資格についての内容説明(特徴や資格取得のメリット、受験手続等を含める)と学生からの自由な質問を受け付ける時間に充て、資格に対する学生の理解度の向上を図った。</p> <p>②また、本科目はフードスペシャリスト資格要件科目全般の網羅的な内容であるため、できる限り広範囲に広く・浅くを心掛けて教授した。</p> <p>③講義中における学生の集中力や習熟度の向上、「見る・聴く・書く」のバランスを良好に保つために、毎回穴埋め式のテキストを準備し学生に配布した。</p> <p>④講義終盤に「まとめと振り返りテスト」を実施し、学生らの習熟度の把握と知識の定着を図った。</p> <p>⑤また今年度はフードスペシャリスト論全般の内容の中から学生自らがテーマを選択し、それに関する情報を収集してまとめる課題を学生たちに提供した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均点が87点、再試験対象者が2名で、理想的レベル(90点以上として試験を作成)が全体の53%であったこと、また学生の到達度自己評価の全ての項目の中央値が4であったことから、「知識理解」の面において当初の目標を達成できたのではないかと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は専門の選択科目であり、i フードスペシャリスト資格の取得を目指す学生や ii 資格取得に関心を持っている学生らが受講している。受講した全ての学生が一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 「知識理解」の達成度について、学生の到達度自己評価および最終の成績評価から問題はないと考えられる。</p> <p>③まとめ 以上のことから、内容的妥当性には問題ないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方に関しては、穴埋め式の配布テキストを毎回学生に提供しているが、「説明は理解しやすいものであった。」など授業の質評価における全ての項目の中央値が4であったことから、次年度もこの方式を採用していきたいと考えている。 また昨年度学生から挙げた「配布テキストの文字や穴埋めのスペースが小さい」という意見については、今年度できる限りの改善を図ったため解消できたと考えている(同様な意見は今年度は見られなかった)。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>知識の習得と理解という面では、概ね目的を達成することができた。 また今年度は学生自らがテーマを選択し、それに関する情報を収集してまとめる課題を学生たちに提供したことにより、授業の質評価中の「授業中に自分の意見をまとめる機会が作られていた」の項目の平均点が、昨年度の3.4から3.9に上昇したのではないかと考えている。良い傾向であり、次年度も引き続きこの方式を採用したい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	八木 康夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
運動生理学	4	前期	選択	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>運動生理学の基礎的知識の定着を前提とし運動、栄養、運動関連代謝系との関係を理解できるように努めた。受講の動機は「関心があって受講した」と答えた者が60%だった。しかし、60%の学生は「単位数の確保」と4年生で卒業単位のGPA調整をしており、消極的の学生ばかりとは言えない。健康関係の情報は近年メディアを通して日常的に触れているが、断片的で不十分である。トピックス、ダイエット、体作り方法などを取り上げながら、自分自身を含めた人の健康管理をする上で必要な知識を理解できるよう授業計画を構成した。授業は、ノート提出、レポート提出、小テストを単元毎に設け、予習復習範囲を明示し、教科書の内容を繰り返し読み込ませよう促した。小テストにはとても真面目に対応していると思われた。レポート作成では、各レポートごとに個別的指導を行い、論理的考察方法の道筋を会得できるよう努めた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された	どちらともいえない	やや達成された		
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	<p>最終的な成績の平均値は79点であり、再試対象は0名であった。</p> <p>全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル(概ね80点以上として試験を作成)に達したものは4名(5名中)と予想に反して少なかった。受講動機は「単位数確保」の学生が60%であった。「関心がある」学生が60%で、その学生らの貢献で活気のある授業をすることができたと思う。</p> <p>目標達成できたと答えた総数は4人(5人中)で高値を示した。目標別に見ると、「知識が獲得できたと思う」は5人、「事象理解の視点を得た」と思う学生は5名、「課題検討力」を得た学生5名、「判断力を得た」5名、「学習意欲が得られた」5名、「必要技能を得た」5名、「表現力の向上」5名、「倫理規範獲得」5名、「職業選択の参考」5名といずれも高い自己評価を持たすことができたと考える。</p> <p>欠席する者も多くなく全員が積極的に受講していたと考える。</p> <p>今後、関心度に関わる数字を高めるような方法を考えたい。また、教科書以外の資料をインターネットを利用し、配布やアンケートの回収を行い工夫のポイントを拡大したい。またその歴史なども説明して、もっと深みを増していくことも次年度にむけて検討したい。</p> <p>学生による授業評価では、知識理解の観点、思考判断の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。これは、学生が思考判断で何が問われているかを自覚していなかった可能性が考えられる。次年度に向けて、ルーブリックで示すだけでなく、各授業のはじめに示す「ねらい」の表現を工夫するようにしたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性 本科目は「専門応用科目」であるが、「専門基礎科目」と「専門応用科目」をつなぐ要の位置にあり、必修である。授業準備の欄で指摘したように国家試験を受けないことを決めた学生も受講するなど、動機付けを工夫をする必要がある。本講の学生は一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>②DP, 行動目標からみた内容的妥当性 成績評価から思考判断に関する達成度が比較的低かったが、思考判断として何を問っているか学生に伝わらなかった可能性を示している。昨年度課題としてあげた領域はすでに内容を修正しており、その領域の成績は上昇したことから、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>以上から、内容的妥当性に問題はないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会を設けたが平均が3.0であった。事例を取り上げて検討をする機会を作ったが、じっくり考えてもらう時間は十分に作れなかった。復習の時間が想定より少なかったことも反省点である。次年度に向けては、第一に、思考判断の行動目標をより具体的に示した上で、事例を事前に提示して検討を加えて授業に参加するよう促していきたい。学生の意見として、配布物の記入箇所を工夫することで時間が作れるのではないかとあった。これは取り入れていきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>専門応用科目の入り口にあたる本科目の位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できた。授業過程を振り返ってみたとき、事例をじっくり検討を加える時間がなかったため、予習課題の提示などで更に改善を図りたい。以上から、毎回のねらいを具体的に示すこと、可能な限り考える時間をとるか、課題を意識的に提示するようにすることをくわえていきたい。また、内容の整理を行うことで、授業中に課題を行う時間を増やすようにしたい。また、配布物に対する学生の意見は取り入れ、来年度に改善を行いたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	手嶋 英津子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
栄養カウンセリング論	3	前期	選択	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目では、栄養教育に必要な基本的カウンセリング技術の修得を目的としている。人の食行動を科学的に考察するとともに、行動科学と栄養教育の関連性を理解し、カウンセリングマインドを持つことの重要性を認識した上で、管理栄養士としての資質を身に付けることも目標に掲げている。本科目は選択科目であるが、栄養士および管理栄養士受験資格の必須科目として位置付けられているため、多くの学生の受講動機は「必須科目である」「資格取得に必要である」との理由である。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目の最終的な成績の平均値は73.7(±11.4)点であり、再試験該当者は5名であった。標準的レベル(70点以上)に達したものは43%、理想的レベル(80点以上)に達したものは27%であった。到達度自己評価では約98%の学生がすべての項目において、「まあまあそうだと思う」「わりにそうだと思う」「かなりそうだと思う」と評価しており、全体を通して項目に差がないことが示された。試験内容としては、すべて講義内容からの出題であり、講義内容の知識の修得は概ね達成されたと考える。本科目では、コミュニケーションスキルを高めることが必要であるため、授業の中でワークを取り入れコミュニケーションが高まる工夫をしている。そのため、本年度は、コミュニケーション力や表現力を高めることができたかの項目では、「まあまあそうだと思う」「わりにそうだと思う」、「かなりそうだと思う」と答えた学生は100%であった。来年度も引き続きコミュニケーション力、表現力を高めるために授業内容を工夫していきたいと考える。</p> <p>学習量の評価では、授業の課題以外学習していない学生が70%以上見られた。栄養学科3年前期は開講科目が多く、臨地実習前ということもあり課題の多い時期である。自由記述でも学習をしていない理由に「忙しかった」とあり、十分な時間を確保できないのが現状である。しかしながら、このような状況の中でも、学生が自主的に学習に取り組むように、意識づけを図ることが今後の課題である。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、栄養士取得および管理栄養士受験資格の必須科目であり、管理栄養士国家試験の栄養教育論の中で出題される分野である。特に管理栄養士として就職を考えている学生にとっては、本科目は必ず身に付けておくべき分野である。学生の達成度自己評価においては、全ての項目において約98%の学生が達成したと回答しており、また最終成績においても88%の学生が標準的レベルに達していたため内容的妥当性については問題ないと考える。しかし、科目の特性を考えるとDP5[技能表現]に対する達成度の全体レベルをさらにあげるために、ロールプレイを充実させる等内容を深めていきたい。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>一昨年度の授業評価では、授業の質評価において、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」が他の評価と比べ低い値であった。そのため、昨年度より授業後の感想や質問が自由に記述できるようにワークシートを作成し、毎時間提出としている。また、質問がしやすいように適宜声掛けをし、授業中での疑問点や要望にその都度対処するよう努力し改善している。</p> <p>今年度の改善課題として、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」に対し、約3%の学生がそうでないと思うと回答しているため、次年度からは、評価基準をわかりやすく示すなど工夫をしていきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目では、栄養教育に必要な基本的カウンセリング技術の修得を目的としている。人の食行動を科学的に考察するとともに、行動科学と栄養教育の関連性を理解し、カウンセリングマインドを持つことの重要性を認識した上で、管理栄養士としての資質を身に付けることも目標に掲げている。学生の達成度自己評価においては、大多数の学生が専門的知識の修得が達成できたとの回答であり、講義内容等についての問題はないと考える。</p> <p>今年度の改善課題として、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」に対し、約3%の学生がそうでないと思うと回答しているため、次年度からは、評価基準をわかりやすく示すなど工夫をしていきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	坂巻 路可

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
栄養学実習	3	前期	必修	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>栄養学実習では、医療現場等における栄養ケアマネジメントの考え方を実践的に理解し学ぶことを目的としている。本科目は、管理栄養士必修科目である。今回の受講動機では「必修科目である」が99%、次いで「資格取得に必要である」が14%であった。授業の予復習においては、学習準備については半数以上、また復習については6割を超えるものが実施していなかった。ここ数年の傾向として、学習準備性が低い傾向が見られる。本年度は実習の進め方や課題の量を検討し、変更を加えたが、次年度に向け、継続して学習準備性の改善が図れるよう検討を行っていく。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>総合的な成績の平均値は79(±7.6)点であった。本試験の受験者において、再試対象者はいなかった。本試験の成績については標準的レベルまたは理想的レベル（概ね80点以上として試験を作成）に達したものは約45%であった。学生による授業評価においては、新たな知識を得て、自分なりの目標を達成している者の割合が90%を超えていた。また、学びを深めたい者は92%、様々な課題を検討する力を得た者は97%と割合が高く、自己評価については、どの項目もあまり差が認められなかった。学習量の評価においては、半数を超えるものが予復習を行ってならず、また授業の課題以外への自発的な取り組みを行ったものは僅かであったため、学習量とその内容を吟味し、今後の改善に繋げたい。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性について、本科目は管理栄養士必修科目であり、専門分野に必要な知識・技術の実践的な学びを目指している。学生による授業評価においては、自分の目標を達成し、新たな知識を得て、自分の専門分野について、様々な課題を検討する力を得ることができた者が9割を超えていた。併せて、専門分野で必要となる技術を身につけることができたと評価している。成績評価においても、一定の成績を収めており、DP、行動目標の視点から思考判断に関する達成度も高く、内容的には妥当であると考えられる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学習量の評価において、予復習の取り組みをしたものの割合が低く、また、図書館等の利用割合も低かった。予復習や自発的学習の動機づけとしても、図書館での図書や関連雑誌の積極的活用を促したいと考える。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目は、管理栄養士必修科目であり、専門分野に必要な知識・技術が実践的な学びに繋がっていくことを目指している。学習到達度の自己評価において、90%以上が目標を達成し、新たな知識を得て、的確に判断する力を得ることができたとの回答が得られている。次年度に向け、授業の進め方や内容を精査し、授業への関心・意欲が高まるよう更なる改善を図りたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	久保 由紀子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
栄養教育論Ⅱ	3	前期	必修	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は管理栄養士国家試験受験資格取得のための必修科目であり、臨地実習Ⅱ・Ⅲの要件科目でもあることから受講動機は「必修科目である」97.6%となっているが、「資格取得に必要である」17.1%回答しており要件に対する理解が不十分であることが推測される。基本的理解が進むようきめ細かな説明が必要であると考え、他講義科目との関連性なども含めて資料を作成した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目の本試験成績の平均値は71.2(±7.9)であった。S評価7.8%、A評価48.9%、B評価33.3%、C評価10.0%でD評価は該当者はいなかった。全体的到達度自己評価は「達成した」と回答した者が97.7%であった。成績、達成度ともに前年に比較し高くなっていることは、中間テストを行い、正文集作成を課題として課したことが刺激となり反映されたものと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門教育科目」の専門分野であり、栄養士・管理栄養士として活動するすべての分野において必要とされる業務「栄養教育」を行うために必要とされる知識及び技術の修得、態度の醸成を目的としている。「学習到達度の自己評価」において各項目90%以上の評価をしており内容的妥当性に問題は無いと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に
お示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、イン
ターネット利用」学生の意見など

授業の質評価に対しては各項目「まあまあそうだと思う」、「わりにそう
だと思う」、「かなりそうだと思う」と回答した者は90%以上である。し
かし、授業中の発問や授業終了後の振り返りシートにおける感想、質問の
記述に個人差がみられる。自分の考えを続けて発表できるよう場面設定
を多くしていくことを更に増やしていくことを検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学期後半の学習に対する意識喚起を目的として中間テストを行い、正文集を課
したことが良い刺激となり、定期考査の成績へ反映されたものとする。更
に理解を深め応用する力をつける為の工夫を検討したい。

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	久保 由紀子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
栄養教育論実習 I	3	前期	必修	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は栄養士免許取得・管理栄養士国家試験受験資格取得のための必修科目である。受講動機は「必修科目である」98.9%となっている。予習時間に対する評価は、復習時間に比較し「2, 3回」28.9%、15.6%、「4, 5回」13.3%、0.3%、「6回」0.1%、0%と高くなっている。模擬指導に対して準備を整えていったことが推測される。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目の定期試験及び実習から評価して平均点は79.4(±8.1)点であり、S評価0%、A評価13.3%、B評価42.2%、C評価44.4%、D評価0%であった。全体的到達度自己評価で「達成した」とした者が98.8%であった。初めての栄養教育の実習に対して積極的に取り組んだ結果、達成感が得られたのであろうことが窺える。図書館の利用についても「図書館の図書」36.7%、「データベース検索」17.8%、「インターネット利用」47.7%となっており、前年に比較して「図書の利用」、「データベースの検索」が多くなっている。根拠のある情報収集ができるよう指導していきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門教育科目」の専門分野であり、栄養士・管理栄養士必修となっている。栄養教育は栄養士・管理栄養士として活躍するすべての分野に必要とされる、人を対象とした業務であり、知識・技術の習得、態度の醸成を目的としている。「学習到達度の自己評価」において各項目「やや達成された」90%以上の回答があり、内容的妥当性に問題は無いと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>初めて栄養教育を計画・実施する科目である。ここで修得した知識や技術が他の専門科目へ応用されることから、基礎を十分に理解することをねらいとしている。自分で考え、組み立てていく力をつける為、学生個人に対して個別の指導に多くの時間が必要となるが、各々の理解度を把握しながらきめ細かな対応が必要であると考える。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目は、学友を対象と模して初めて栄養教育を経験する場である。栄養士・管理栄養士として必要とされるコミュニケーションや倫理についても修得することを目標としている。緊張感をもって真摯に取り組むことで達成感が得られることを実感していることが達成度評価から推測できる。自発的に考え行動し、問題解決する力をつける為意見交換の場を多く作る等検討したが活発な活動には至らなかった。更に自由に発想し発言できるよう場面設定していくことを検討したい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	近江 雅代

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
栄養治療学Ⅰ	3	前期	必修	いいえ	95

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目では、傷病者の病態や栄養状態に応じた適切な栄養管理を行うために、各疾患の成因・病態、治療法ならびに具体的な栄養管理方法について修得することを目的としている。また、疾病別栄養管理の知識に加え、臨床における管理栄養士の役割について理解し、健康維持・疾病からの回復に大きな役割を期待されていることを認識した上で、管理栄養士としての資質を身につけることも目標に掲げている。</p> <p>本科目は卒業必修科目であり、かつ、管理栄養士受験資格の必須科目としての位置づけであるため、多くの学生の受講動機は『必須科目である100%』との理由である。にもかかわらず、授業準備性について、十分とは言えず、受講後の準備も不足していた。今年度より、事前事後学習を促す取り組みとして、確認テストの導入を試みたものの、十分な成果は得られなかった。栄養学科3年前期は開講科目が多く、学外実習が始まる時期でもあり、学生も多忙を極め、事前事後学習の時間が十分に確保できないのが現状である。しかしながら、このような状況の中でも、本科目の目標達成のためには、事前事後学習を進めることは必要であり、次年度以降、確認テストの導入に加え、何らかの課題を提示することにより、事前事後学習に対し、より強化したいと考える。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目の本試験成績の平均値は62(±12.7)点であり、本試験合格者は全体の67%であった。また、標準偏差が大きかったことから、学生の修得状況は個人差が大きかったことが考えられる。実際には、33名(36%)が標準的レベル(70点以上)を達成しており、理想的レベル(80点以上)は4名(4%程度)であった。また、2016年度の成績(61(±12.6)点)に比し、今年度の点数はほぼ同じであったものの、標準的レベル以上を達した学生は21名(18%)から増加しており、毎回の確認テストの導入の成果であるものと推察される。しかしながら、学生の到達度自己評価では、90%以上の学生が専門的知識および技術の修得を得ることができたと回答していた。学生としては修得できたとの認識があったものの、試験による評価において十分な成績を得られなかったのは、的確な知識の修得ならびに理解ができていなかったものと推察される。次年度以降、確認テストの実施に加え、何らかの課題を提示することにより、知識確認のための強化に努めたいと考える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は卒業必修であり、かつ、管理栄養士国家試験(200問)のうち、28問を占める分野である。学生の多くは管理栄養士の資格取得を目指しており、また、特に、臨床分野での就職を考えている学生にとっては、必ず身につけておかなければならない知識の一つである。このことは、学生の達成度自己評価の『職業選択』の項目において、全員の学生が参考になったと回答していたことから、管理栄養士が専門職業人であることに対する理解は深まったことと推察される。学生の達成度自己評価においても、90%以上の学生が専門的知識・技術の修得ならびに判断する力等において、達成できたと回答したが、試験成績が伴っておらず、学生の達成度に対する認識と成績との間に乖離がみられた。原因の一つとして、シラバスの説明不足、特に、具体的な達成の目安に対する学生と教員との認識の差によるものと考えられ、次年度はより詳細なシラバスの説明を行うこととする。また、学生の達成自己評価の高さから、内容的妥当性については問題ないものとする。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>本科目では板書での記録しているため、自由記述として、『字が薄い』『板書のスピードが速い』『字が汚い』との意見が挙げられた。このことは、取り入れるべき意見であり、教室での前列からの着席を促し、また、余裕を持って記録を取ることができるよう、配慮したい。また、板書での記録しているため、大多数の学生は自分なりのノートを作成したとの回答であった。ノートを作成することにより、講義内容の整理ができ、かつ、理解も深まるものと考えられ、板書による記録は今後も続けていきたいと思う。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目は卒業必修であり、かつ、管理栄養士国家試験(200問)のうち、28問を占める分野である。学生の多くは管理栄養士の資格取得を目指しており、また、特に、臨床分野での就職を考えている学生にとっては、必ず身につけておくべき内容である。学生の達成度自己評価においては、大多数の学生が専門的知識・技術の修得ならびに判断する力等において、達成できたとの回答であり、講義内容等についての問題はないものとする。しかしながら、試験成績における達成度が十分であったとは言い難く、学生の達成度と成績評価との乖離を縮小するために、シラバスの活用はもちろんのこと、講義内容ならびに1回の講義内容量について、再検討が必要であると思われる。また、今年度に引き続き、次年度以降も確認テストの実施し、学生の的確な知識の定着に加え、その理解度を量ることにより、学生の気づきを促し、さらには、自発的学習へと繋げたいと考える。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	L. Dennis Woolbright

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英会話A	1	前期	必修	いいえ	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>This English course, used the textbook "Four Corners: Book 1", and the focus was on building students skills in English. Each unit of the textbook covered a different topic, and it took 2-3 weeks to complete the units We spent more time on speaking activities to improve fluency. We worked on vocabulary building, and how to use that vocabulary effectively. We also worked on the four skills of reading, listening, writing, and speaking.</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	Students did well on the Chapter quizzes, but some had difficulties in the final test.					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>Students in this English course showed a strong attitude towards learning and felt both DP3 and DP4 were achieved. There were very few problems with absences, participation in class was always strong, and homework was mostly done. For DP1 and DP5, this semester we focused a lot on building their basic skills, particularly in vocabulary, many students did make significant gains.</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に
お示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、イン
ターネット利用」学生の意見など

Some new goals are: 1. More oral practice through games and activities. 2. The use of music as a warm up activity.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

We need to focus more on performance based task so we can actually assess the students fluency levels.

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	十時 康

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
英語 I	1	前期	必修	いいえ	79

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>栄養学科で英語ということで、教科書はESP教材を採用し栄養や食に関する内容の英語を「読む」ことに焦点を当てた。</p> <p>受講動機を見ても「必修科目だから」というもので英語自体への苦手意識も高いことを予想し(初回アンケートで確認)、具体的には語彙力(日英のクイックレスポンスを含む)、スラッシュリーディングのスキルを獲得することを狙いとした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>全体の成績は期末試験の点数でほぼ決まる割合であった。期末試験の問題構成としてはスラッシュリーディングと単語(単純なマッチングの問題)で6割以上は点数が取れるものとした。スラッシュリーディングの問題ではほぼ全員が満足のいく点数であったが、単語の問題に関しては半分に満たない学生も多く、こちらの期待通りの結果とはいかなかった。期末試験全体の平均は68点前後であった。</p> <p>スラッシュリーディングは授業で毎回行っていたので期末試験でも問題なくできていたのだが、単語については小テスト2回でレビューしただけであったので、期末試験であまりよくない結果となってしまったかもしれない。</p> <p>以上を根拠として上記の自己評価をした次第である。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>必修科目であるものの、専門の栄養学との関連は間接的なものであっただけに、学生への動機づけには苦しんだ。学生の到達度自己評価でも専門分野との関連項目(4)～(7)では平均3.5、中央値3という結果であったので、もっと専門分野との関連を強くすると必要があると反省している。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質の評価で中央値も4.0、平均値もおよそ4点台であったので、後期は全体の押し上げをはかりたい。項目3の説明のわかりやすさについてであるが、授業で詳細な説明が欲しい英文を学生がリクエストしてそれについて翌週教員が回答するという方式を進めてきた。この項目は平均点が3.8であったので、この項目も4点台にもっていきたい。「説明のわからなさ」の原因が何であるのか(しゃべり方なのか、文法用語の使用なのかなど)をはっきりさせて授業改善に取り組みたい。この授業では各ユニットの単語のリストをウェブアプリを使って学習できるようにしており、授業以外での学生のアクセスも多かった。それが学習量の評価の「自発的学習」の量にも表れているので継続していきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本授業のフォーカスはスラッシュリーディングと語彙力の強化にあった。前者は授業でもワークシートを毎回使用し、小テストでも出題したので期末試験においても成果は表れており、学生からのコメントでも「少しずつできるようになってきた」旨の声が聞こえたので、ある程度目標達成したといえるだろう。語彙力強化について、ウェブアプリで授業時間以外でも学習できるようにはしていたのだが、それを使っての学習は学生の自主性に任せていた。期末試験の結果を考えると目標達成はまずまずという具合であろうか。単語テストの頻度をあげるなどして、外発的動機づけによって学習へ導く必要があるかもしれない。</p> <p>あとは専門分野との関連をより意識させることが課題である。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	天本 理恵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
応用栄養学Ⅱ	3	前期	必修	はい	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①応用栄養学Ⅱは、応用栄養学Ⅰに続く科目であり、栄養学科の学生にとっては、卒業および管理栄養士受験資格必修の教科である。よって受講動機は「必修科目である」が98.9%、「資格取得に必要である」が18.0%となることは、当然の回答であり、「関心のある内容である」が3.4%と低いことに関しては、応用栄養学Ⅰ(2年後期)の講義を学生の関心を引き付けるような具体的な内容で実施し、学生のモチベーションを保ちつつ、応用栄養学Ⅱの講義に臨んでもらうことが出来るようにしていく必要がある、これは毎年度の課題であるが、難しいのも現実である。</p> <p>②昨年までと同様、スライド資料を配布し、その資料には、板書を書き写すためのスペースを設けるなど、資料作成に努力はしている。また、毎回の授業終了時に、その日の講義の復習小テストを行い、解説して、提出させている。その小テストには、授業理解度を%で自己評価させ、意見や質問をうける欄も作成している。毎回、質問欄には、学生たちから色々な意見や質問が記入されており、それに必ず返答して返却するよう努力している。その結果、学生たちが意欲的に講義に臨む姿勢がうかがえる上、授業評価の自由記述にも、講義内容に興味を持つことが出来た等意見が出てきている。小テスト、授業理解度の自己評価に関しては今後も続けていく予定である。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>DP1(知識理解)、DP2(思考判断)、DP3(意欲関心)に関しては、定期試験結果から評価した。試験結果は107名の受講生中、A(秀)が2%、B(優)が28.2%と多く、C(良)37%と良が一番多かった、D(可)が21.7%で、不可の学生は10名であった。また、DP4(態度)やDP5(技能・表現)に関しては、小テストへの取り組みや、レポート以外の提出物にて評価をおこなった。受講生多くが標準的レベルに達してはいるが、理想的レベル(今回は秀90点以上として試験を作成し評価した)に達している学生は2%と低かった。理想的レベルの学生は、まだまだ限られてはいるが、優の学生も28.2%と多いため、受講生の多くに、受講に対する意欲の高さはうかがえた。また学生による授業評価においては、知識理解や思考判断および意欲関心に関する自己評価が高い。講義への関心の高さは、試験結果や、自己評価で判断することが出来たが、学習量の評価では、67%の学生が予習および復習を一度もしていないかった。今後はもっと予習・復習を促すことが出来るよう、シラバスの活用も含め、検討していく。また、学習のために図書館を利用したり、インターネットを利用して検索学習を行う学生が少なかった。特に図書館の利用に関しては、自主的学修のためにも学生に勧めていく必要がある。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、専門科目であり、管理栄養士国家試験受験資格の必修科目である、卒業必修でもある。また基礎栄養学とともに、管理栄養士カリキュラムの専門分野6科目の1つに位置している。また、専門基礎科目から専門科目へのつなぎの科目(基礎から専門への入り口科目)でもあると考える。このことから、受講動機の「必修科目である」が98.9%なのは、当然の回答である。また、本科目に対する学習到達度や試験結果から、必修教科ではあるものの関心の高さや達成度の高さは伺えたため、DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性に関しては、妥当であったと考える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学習量の評価では、67%の学生が予習、復習を一度もしていないと回答した。さらにこの授業を履修する際にシラバス記載を参考にしなかった学生は76%と高かった。必修科目であるため、シラバスを参考にしなくとも、本科目の履修は卒業条件だという思いが学生たちにあると考えられる。ただし、シラバスを参考にした学生の44%が、「シラバスに沿って講義をうけることが出来た」、「教員のオリエンテーションに沿って授業を受ける計画を立てた」と回答しており、今後も講義初回のオリエンテーション時における、シラバスの説明、今後の授業の進め方、自己学習の仕方等を丁寧に実施していく予定である。初回にシラバスを印刷したものを配布しているので、これに講義前には目を通すことを促したい。予習復習等自己学習に関しては、まずは、少時間でもいいので、予習・復習をする習慣をつけてもらえるよう、シラバス記載の予習・復習項目を常に意識するよう学生に促す。さらに、予習・復習課題の作成を検討していく。大教室では「白板の文字が見えない」という意見もよくある。後方の座席の学生までが見えるホワイトボードマーカーを購入する予定(個人管理で)である。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目の位置づけは、管理栄養士受験資格必修の専門科目で、かつ、専門基礎科目から専門科目へのつなぎや入り口にあたる科目と考える。必修科目としての履修ではあるが、学習到達度の学生の自己評価および試験結果から、概ね全てのDPを達成できたものとする。3年後期には本科目の実習科目がスタートする。この実習科目において、さらに復習を重ね、その実習の到達目標達成に効果が出るよう努力していく。本科目の予習・復習に関しても、毎回の講義で、実施を促していく。小テストだけでなく、予習・復習課題の作成も検討していく。これからも講義時の学生の反応をみつつ、常に意見を取り入れ、授業改善を行っていく。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	山田 志麻

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
応用調理学実習	2	前期	選択	はい	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①この科目は基本的な調理ができることを前提とし、さらに応用力を養う実習であるため、まずは調理技術を学生自身が実践し、実践力を身につけることが最も重要であると考えた。そのため出来るだけ多種類の料理を作る機会を与えるため、師範を簡単にし、講義内容はテキストでの説明とポイントのみに絞り、自ら考え作れるよう促した。</p> <p>②応用調理学ではあるが、1年前期に調理科学実験の講義が無いため、学生はただ料理を作ることしか知らず、それがなぜかという、科学的根拠を知る機会がない。そのため、調理科学的な内容を含み、また今後の大量調理などの実習も見据え、食品の重量や盛付重量の把握、調味料の計算なども実習内に取り入れた。</p> <p>③事前に予習をさせるため、前週にキーワードやポイントを中心とした予習課題を配布し、実習当日の始めに提出させた。</p> <p>④学生が自ら、多種のメニューを作れるよう、師範をすべて行わず、ポイントだけに絞るという実践優先の実習形式とした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された			やや達成された	やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績平均値は74±22.6点と標準レベルであった。この実習は実習後のレポート得点を加味するため、提出しない学生が5名存在し、この結果評価がかなり低いものとなった。理想レベル(概ね80点以上として試験を作成)に達していたのは92名中48名で1名は退学。このうち5名が追試となった。学生の学習到達度を見ると、「自分なりの目標に達した」が3.7点、「知識を得た」が3.9点、「的確に判断する力を得た」は3.8点、「学びを深める意欲」3.8点、「技術を身につけた」が3.8点であった。授業の質の評価では、「説明は理解しやすいものだった」が3.7点との評価であった。以上のことより、1年後期の基礎調理から一貫して調理技術の習得に力を入れた結果、調理技術のレベルが向上したと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 「専門基礎科目」の「専門基礎分野」である本科目は、下学年にとって基本的専門分野として重要であり、必修である。しかし、入学当初の調理技術レベルの差を1年次の基礎調理学実習と2年次の応用調理学実習で埋めること、また、個人の調理技術レベルの差をなくす努力をしたい。この課題に応えるように技術テストを行うなどの工夫をし、学生も標準の調理技術を身につけていることから、内容的には妥当であると考ええる。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 コメントや学生の自己評価から専門的知識や技術の習得は比較的、達成度が高く、自己啓発や研鑽しようとする態度が伺われた。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が3.7であった。これは1人1人が献立作成を行い、グループワークにより班ごとのオリジナル献立を考え、デモンストレーションおよびプレゼンを行った結果であると考えられる。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目は「専門基礎科目」、「専門基礎分野」に位置づけするため、基礎的知識の形成については概ね達成できた。</p> <p>①初回は1年次の基礎調理学実習の復習を踏まえた実習内容にする、②15週の中間でアンケートを取り、学生の要望や困っていることなどを早期に確認する、③学生の理解度を把握するために小テストや実技テストを行い、自主的に学習を心がけるよう指導する。④この学年は実習に出席したにもかかわらず、進路の変更や学業に対する悩みから、受験資格があるにもかかわらず、定期試験を受けなかったり、試験勉強をせずに定期試験に臨んだ学生が数名見られた。実習に出席し、基本的な技術も身につけていたにもかかわらず、進路や学業、精神的な問題等により単位を取得できなかった学生がいた。今後このような学生の対応を早急に行い、未然に防止するよう、何らかの対策が必要であると考えます。⑤昨年度の学生と成績を比較すると、かなり低下していることが顕著である。学生のレベルに応じた技術指導や学習指導を心がけ、個人個人に対応した指導が必要であると感じられた。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	岡部 明仁

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
解剖生理学	1	前期	必修	いいえ	79

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①教科書の図を順序通りに説明を行うことにより、学生がメモを取る時間を極力軽減し、説明を聞く時間を多くとり講義時間内に理解してもらえように取り組んだ。説明文は、教科書と同じ文章を用い、教科書に印をつけるだけでキーワードを含んだ文章を探し出せるよう講義スライドに記入した。</p> <p>②講義資料は、最終的に「講義資料配布システム」に全てアップロードし、いつでもどこでも復習できるようにした。</p> <p>③管理栄養士国家試験において得点率が低い分野であること、また調理や栄養に直接的な関連がわかりづらい分野であり且つ初年次前期での履修となるので、興味を持ってもらえるよう身近な病気・病態や生理現象をできるだけ多く提示した。</p> <p>④試験問題の傾向を学生に知ってもらうため、定期試験前の講義内で小テストを行い復習への意識を高め、学習状況を確認するようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①今年度の結果 本試験の合格者は78名中73名で再試験者は5名であったが、再試験後全員合格した。本試験の平均点は71.4±8.15点であり、標準的なレベル(概ね70点以上)に到達していると考えられる。しかしながら、80点以上が4名と理想的レベルに到達しているのはごく限られたものであった。来年度は、全体として理想的なレベル(平均点が80点以上)になるよう、工夫したい。具体的には、講義資料を前もって配布し、進みそうな範囲を前もって予習してきてもらうなどを考えている。</p> <p>②学生による授業評価においては、「到達度自己評価」及び「授業の質」において、「まあまあそうだと思う」以上の肯定的な評価が90%以上である項目が多いが、「コミュニケーションや表現力」、「職業倫理や行動規範」、「学生が参加する機会」などについては、「少しそうでないと思う」以下が10%程度あることから、このような機会を講義の中で作っていくことを次年度の課題とする。</p> <p>③「図書館、インターネットの利用」が非常に少なかったため、課題を与えて図書館等の利用を促したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容の妥当性 本科目は「専門教育科目、専門基礎分野」であり、必修科目である。管理栄養士国家試験にも一定の割合で出題されており、専門的な医学系科目を学ぶための基礎知識を学習するものである。調理や栄養と直接的な関連性が分かりづらい科目ではあるが、学生も一定の成績を収めていることから、内容は妥当であったと考えられる。</p> <p>②DP、行動目標から見ての内容の妥当性 成績評価と学習到達度についての学生の自己評価からみて、目標を標準的なレベルでほぼ達成できたこと、加えて定期試験問題は管理栄養士国家試験の問題に準じて作成したので、内容的には妥当であったと考えられる。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性は問題ないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均が3.3と低かった。身近な生理現象や、病気などを例に挙げて問題提起をするよう心掛けていたが、学生同士で議論しまとめ、発表するという時間をとることができなかった。予習・復習や自発学習を行っていない割合が多いのも反省点である。次年度に向けて、配布資料を前もって配ることにより、予習を促し、途中で小テストを入れるなどして、復習する動機づけを検討したい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>専門教育科目専門基礎分野にあたる本科目の位置づけから、知識理解度及び技能表現についてほとんどの学生が積極的に取り組んだものと判断できることから、概ね目標を達成できたと考える。講義時間中の質疑応答は、比較的自由に行えるようにしていたが、事例について学生同士でじっくり時間を取って検討し、発表する時間がなかった。今後、毎回の講義のねらいを具体的に示し、グループごとに討論する時間を設けたり、その内容を発表してもらうなど、学生がもっと参加する意欲が持てるよう努力していきたい。</p> <p>配布物や講義の進行については、学生の意見を積極的に取り入れ、来年度に向けて改善を行いたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	岡部 明仁

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
解剖生理学実習	1	前期	必修	いいえ	78

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①正常な生命活動の仕組みについての理解を深めるため、解剖生理学の講義と並行して生命維持に不可欠な諸器官の構造と機能について、身体活動などと組み合わせ可能な限り身近な題材を用いて実習を行うようにした。</p> <p>②実習レポートは実習終了後一週間以内に提出をさせ、提出後1週間に以内にコメントを付けて返却した。実習内容を忘れないうちにまとめることと、早い段階でのレポート返却により、学生がコメントを確認することで復習の機会が自然とできることを意図した。</p> <p>③骨及び筋の名称について小テストを行うことで、骨格系の知識の定着を図った。</p> <p>④1年次前期の実習科目であるので、コミュニケーションを円滑に行えるよう、実習の初めの4回は共同作業を行う紙製の骨格標本を8~10名で1体作成するようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された	やや達成された	
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<p>到達度自己評価にて「自分なりの目標を達成した」、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野の様々な課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」という5項目について、「まあまあそうだと思う」以上の肯定的な回答が100%を占めている。またその他の項目についても95%以上の学生が肯定的な回答をしていた。加えて、レポートは総じて大変良くできており、積極的に取り組んだ跡がうかがえた。図書館等の利用が非常に少ないが、実習時間にスマートフォンなどを用いてインターネットを利用した情報検索を許可しているため、このような結果になったと思われる。</p> <p>以上のことから、この科目で意図した教育目標はほぼ達成できたと考えられ、授業態度、レポート提出状況からも、この科目に多くの学生が主体的にかかわることがうかがわれる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性 本科目は「専門教育科目」の「専門基礎分野」になり、必修科目である。実習で行った内容は解剖生理学の講義で学習したメカニズムを実際の自分たちの体で体験するという知識定着の役割も担っている。そのため、管理栄養士国家試験にも一定の割合で出題されており、専門的な医学系科目を学ぶための基礎知識を学習するものである。また、学生の成績も非常に良かったことから内容は妥当であったと考えられる。</p> <p>②DP、行動目標から見ての内容妥当性 「到達度自己評価」及び、実習の成績からみても学生は進んで熱心に取り組んでいたと評価したことから、目標をほぼ達成でき、内容は妥当であったと考えられる。</p> <p>③まとめ 以上のことから、内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」と「説明は理解しやすいものであった」という項目について「まあまあそうだと思う」以上の肯定的な回答が100%を占め、そのほかの項目も95%以上の学生が肯定的な判断を下している。概ね、問題はなかったと判断できるが、解剖生理学の講義と順序が一致しなかったことが反省点である。 また、図書館にて本で調べることがほとんどできていないことについても、何らかの対策を考えていきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>専門教育科目専門基礎分野にあたる本科目の位置づけから、知識理解度及び技能表現についてほとんどの学生が積極的に取り組んだものと判断できることから、概ね目標を達成できたと考えます。 この科目は①人体を構成する主な骨と筋肉の名称を覚えること、②泌尿器、血液、循環器、呼吸器、感覚器などの実習を通して、生命体を構成するそれぞれの臓器の基本的な構造、働きについて説明できるようになること、③実験結果のまとめ、グラフ化、考察事項についての調査を通して、化学レポートの書き方を身につけることを目標に行ってきた。最終的な到達目標は、①～③を初学者に説明できるようになるという点に置いた。学生による授業評価とレポートの採点結果、また小テストの結果から見て、これらの到達目標は、ほぼ達成されたものと判断できる。 今後の課題としては、実習と講義の内容がほぼ並行して進むよう検討したい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	手嶋 英津子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
学校栄養指導論 I	3	前期	選択	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、栄養教諭の使命と役割を理解し、児童生徒の食に関する実態を把握した上で、食に関する課題を解決するための意識・態度・姿勢を持つことを目的としている。さらに栄養教諭として学校教育に対する認識を深め、どのような食の指導を行う必要があるかを考える力を身に付けることに重点をおいている。本科目の受講生は、栄養教諭を目指す学生であり、「資格取得に必要である」ことが受講理由である。本科目を受講するにあたり、栄養教諭に必要な資質として主体的に取り組む力が必要であるため、授業以外でも自ら学ぶ姿勢を身に付けるよう促していく必要がある。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された		やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目の受講生は9名であり、授業アンケート等で客観的に評価することは困難であるかもしれないが、到達度自己評価では、すべての項目で全員が、そうだと思うと答えており、目標は達成したと考えられる。</p> <p>学習量の評価では、課題以外に学習に取り組んだ学生が2名であった。本科目を履修している学生は、将来、教員を目指す学生として主体的に学習に取り組む姿勢を身につける必要がある。そのため、主体的に学習を行うように促していくことが今後の課題である。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、教職に関する科目の中に位置づけられており、栄養教諭の使命と役割、職務について理解し、栄養教諭としての意識・態度・姿勢を持つために重要な科目である。到達度自己評価において、「職業選択の参考になった」の項目では平均点が4.0点であり、栄養教諭の職務等が理解できたのではないかと考えられる。その他の項目に関しても、全員がそうだと思うと回答しており、内容的妥当性はありと評価できる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>本科目は、栄養教諭の免許取得のために必要な科目であり、栄養教諭としての基礎的知識や資質および態度を修得することが重要である。しかし、「学習量の評価」では、予習復習の時間は1/3の学生が0回であり、授業以外での学習が十分でないといえる。昨年は、半数以上の学生が0回であったため、やや改善がみられた。栄養学科3年生は臨地実習前で他教科の課題が多い時期ではあるが、本科目の目的を達成するためには、授業時間以外での学習が必要である。次年度は、課題の出し方を工夫し、知識の定着や、主体的に学ぶ力を身に付けていけるよう工夫していきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目は、栄養教諭免許を取得するために必要な科目であり、栄養教諭の入り口にあたる科目である。受講生は9名であり、授業評価からの客観的な判断はできないかもしれないが、最終成績や提出課題より栄養教諭として必要な基礎的知識の形成は概ね達成できたと考えられる。しかし、栄養教諭としての態度や資質を身に付けるためには、主体的な学習を行うように促す必要があり、次年度からは課題の提示等、工夫・改善を行いたい。また、科目の特性上受講者数が少なく、授業評価アンケートでは客観的な意見を捉えにくいので、適宜学生の意見を聞きながら改善に努めていきたいと考える。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	南里 宏樹

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
管理栄養士演習Ⅱ	4	前期	選択	いいえ	102

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①今回の受講動機の内訳は、「必修科目である」が92.4%、「資格取得に必要である」と答えたものが41.3%である。関連科目である演習Ⅰ、Ⅲについても、ほぼ同じ結果である。これらの科目は、卒業必修ではないが管理栄養士国家試験の受験資格に必須であるので、この数字は、前期終了時点で管理栄養士を目指して自覚的にこの講義を受講しているものが4割にとどまっていることを意味する。なるだけ早い時期に将来の方針を決定し、そこに集中させる指導が必要と思われる。また、「関心のある内容である」と答えたものがわずかに1.1%であった。管理栄養士の実践の場における、解剖生理学、生化学、基礎栄養学の基礎的知識の重要性を、できるだけ具体的な事例を挙げて説明していくことが今後の課題だと思われる。</p> <p>②解剖生理、生化学、基礎栄養学などの基礎科目は、栄養学科学生の苦手とする科目であるが、これまでに学んだ内容を復習するためのオリジナル練習問題、管理栄養士国家試験の過去問などを題材に、ただ単に丸暗記するのではなく、からだのしくみを理解した上で、それを基礎に実際の栄養治療、栄養指導に応用できるようになることを目標に講義していきたい。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない	どちらともいえない	どちらともいえない			
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>試験成績の平均点は、71.6点(±12.5)で、84(82%)名が本試験で合格した。、90点以上(A)が5名、80～89点(B)が28名、70点～79点(C)が24名、60点～69点(D)が27名であった。残りの18名も再試験で全員合格した。学生の授業評価アンケートの「到達度自己評価」において、本科目に関連のある項目(1)～項目(7)のうち、5項目は平均値が3.0点であったが、演習科目の栄養学科全体の平均値が3.4～3.6であることを考えると、まだ改善する必要があると考えている。関連する項目の中では、項目(2)の「知識の確認・修正および新知識の獲得」についてが3.2点と比較的高い評価であった。また、「学習量の評価」では、36%の学生が予習を、また、45%が学生が復習を複数回実施しているが、これも栄養学科全体の平均値(それぞれ51.7%、49.3%)より低く、本科目に対して意欲的に取り組ませる工夫が必要である。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>×①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「専門教育科目・専門分野」であり、管理栄養士国家試験受験資格の取得に必修の科目である。国家試験に多く出題される内容であり、重要性は学生にしっかり伝えている。期末試験の成績において学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績は、十分とは言えないまでも、おおむね良好に維持されていることから、内容的には妥当であったと考える。ただ、自由記述において、授業の進め方について改善を要する声が多かったことより、教員の意図が学生に十分伝わらず、学生との意思の疎通が円滑に行われなかったことについて、教える側としても反省する必要がある。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われるが、教員側の意図が十分学生に伝わるように、丁寧な説明が必要と思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>「授業の質評価」において、項目(1)の「評価基準」、項目(2)の「学習の範囲・課題」は平均値3.0、項目(3)の「説明の理解しやすさ」の平均値2.9であった。解剖生理、生化学、基礎栄養学などの基礎科目は、栄養学科学生の苦手とする科目であるので、よりわかりやすい説明を心掛けていきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>専門教育科目・専門分野にあたる本科目の位置づけから、基礎的知識を生きた知識として実践現場に活かせるように、できるだけ実際の事例に関連付けながら演習を進めていく必要がある。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	甲斐 達男

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
管理栄養士演習Ⅲ	4	前期	選択	いいえ	102

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は、管理栄養士国家試験を受験する者を対象としたものであり、授業の内容は、国家試験合格を目指して、類縁科目を総合的に理解・把握するよう設計されている。従って、受講動機が「必修科目である」と「資格取得に必要である」に偏っていることは当然のこと、として理解できる。</p> <p>②4名の教員によるオムニバス形式の授業であり、全体の様子を統一して受講生が戸惑わないよう配慮して学習の便宜を図っている。</p> <p>③管理栄養士国家試験にとって極めて重要な科目であり、前期においては国家試験の過去問の理解に重点をおいて授業を実施している。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された			
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<p>①国家試験対策という性質上、また、本科目で取り扱う分野は前期のうちに達成度を十分に挙げる必要のある基礎科目であるため、定期試験ではかなり難易度の高い出題を行った。最終成績の平均値は55点(昨年は52点)と低いレベルであったが、全国模試の成績と比較すればかなり満足できる結果であった。再試対象者は94名(昨年は46名)であったが、該当者の全員が再試験に合格しており、しかも、平均得点が92点と高いレベルの習熟度を示した。結果的に、受講者全員が標準レベルを遥かに凌ぐ高い達成度を示したことになる。</p> <p>②本科目は、「食べ物と健康」と「応用栄養学」の二つの異なる分野を取り扱っており、授業評価については、シラバスに明記しているとおりに、個別に行っている。今回の本試験における、「食べ物と健康」分野の結果は、平均正解数は25問中の9.5問(37.9%)、標準偏差3.4(13.4)、分散11.2(178.4)であった。「応用栄養学」では、平均正解数は15問中の11.6問(77.2%)、標準偏差2.6(17.3)、分散6.7(295.8)であった。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性 本科目は国家試験受験対策の科目であり、全員が国家試験に合格するためには、全員が標準以上の成績評価を得なければならない。学習の動機づけは容易であり、学生も一定レベル以上の良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>②DP、行動目標からみた内容的妥当性 成績評価から「知識理解」「思考判断」「意欲感心」ともに達成度が高かったこと、昨年度課題としてあげた領域はすでに内容を修正しており、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①国家試験の結果が本科目の評価のすべてであるが、全国模試や校内模試の結果をみて、本授業の質的判断と対策を練りながら授業を進めている。今後もその方針は変えない。 ②昨年に続いて学生から「質疑応答の時間が足りない」との指摘が僅かであるが挙がっており、引き続き、個々の教員ごとに各々何らかの策を講じて対処したい。 ③特定の分野で「試験問題が難しい」との声が受講生が挙がった。今年度より初めて、受験資格の線引きを相当に緩和した結果、現時点で受験予定者が102名と、昨年の77名に比べて大幅に増加しており、それに伴って全体の学力が大きく低下している現状を鑑みて、これまで以上に厳しく受験対策にあたる必要があるので、そのような声は無視して対応した結果、最終的には昨年と同レベルの習熟度を達成することができた。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>すべては、国家試験の合格率で判断されるべき科目である。上述したように、受験資格基準を大幅に緩和した最初の年であり、受験者数が昨年の77名から大きく増加して102名となっている。学力の低い学生が、昨年比べて新たに25名加わったことになる。全員合格を目指して、国試対策にあたって行きたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	近江 雅代

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
管理栄養士演習Ⅳ	4	前期	選択	いいえ	102

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、専門職業人である管理栄養士を目指す学生が受講しており、管理栄養士国家試験教科の『栄養教育論』および『臨床栄養学』分野の出題傾向とポイントを理解することを目的としている。</p> <p>本科目は管理栄養士受験資格の選択科目としての位置づけであるため、多くの学生の受講動機は「資格取得に必要である」との理由が60%を占めている。にもかかわらず、授業準備性について、事前・事後学習の時間確保はやや確保されていたものの、十分とは言えず、学生自身の学習レベルの程度に対する気づきを促すために、次年度以降、確認テストの導入等、事前事後学習に対し、より強化したいと考える。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目の本試験成績の平均値は63(±13.4)点であり、標準的レベル(70点以上)には至らず、また、標準偏差が大きかったことは、本試験の難易度が上がったことに加え、学生の修得状況における個人差が大きかったことが推察される。理想的レベル(80点以上)は11名(11%程度)、標準的レベル(70点以上)は24名(24%程度)であり、約35%の学生が標準的レベル以上を達成できたものと思われるが、半数以上の学生が達成できていない結果を真摯に受け止め、より一層の知識と技術の修得、つまりは、実践的能力の獲得のため、次年度以降、確認テストの実施等といった何らかの知識確認のための強化の必要性が明らかとなった。また、本科目の内容は管理栄養士国家試験のための学習と直結していることから、記録作成において、80%以上の学生が記録をしており、中には、授業の課題以外に国家試験問題に取り組んだとの自由記述もみられ、知識修得に対する学生の積極性が窺えた。しかしながら、より多くの学生が理想的レベルを達成できるためには、学生が自身の知識の修得状況を確認することにより、気づき、さらには、自発的学習へと繋げる必要性を強く感じた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、4年次前学期に開講しており、管理栄養士国家試験の受験資格の選択科目である。専門職業人である管理栄養士を目指す学生が受講しており、学生の到達目標もほぼ同じであるため、本科目に対する達成度が高いことは明らかである。学生の達成度自己評価においても、90%以上の学生が専門的知識・技術の修得ならびに判断する力等において、達成できたと回答し、試験成績においても標準的レベルを超えていたことから、内容的妥当性については問題ないものと考えられる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>本科目の内容は管理栄養士国家試験のための学習と直結していることから、自発的学習として、約半数の学生が予復習を行っているが、一方で殆ど学習準備・復習を行わなかったとの回答も見られた。『授業の課題以外に学習に取り組んだ(自由記述:国家試験問題への解答)』との回答もあったことから、予復習の時間を確保することは可能であったと考えられる。図書館の図書・雑誌や図書館から利用できる学術データベースの利用については、80%以上の学生が利用しなかったと回答しているため、自発的学習の動機付けとしても予復習時の図書館の積極的な利用を促していきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目は、管理栄養士国家試験の受験資格の選択科目であり、専門職業人である管理栄養士を目指す学生が受講している。また、本科目の内容は管理栄養士国家試験のための学習と直結しており、学生自身の資格取得のための科目として位置づけられていることから、学生の成績もやや良好である。また、達成度自己評価においても、大多数の学生が専門的知識・技術の修得ならびに判断する力等において、達成できたと回答しており、講義内容等についての問題はないものと考えられる。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	境田 靖子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
管理栄養士演習Ⅴ	4	前期	選択	いいえ	102

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>管理栄養士国家試験に向けての対策科目であり、公衆栄養学と給食経営管理論から成る。本来は、選択科目であり、卒業必修ではないため、4年時の学生にとつては「資格取得のために必要」な科目(61.9%)であるが、例年より低い。これは学則上は「選択」科目であり、不合格となっても受験資格を喪失するわけではないためと考えられ、例年の学生より学習準備性は低いと推察される。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成されなかった	やや達成されなかった	やや達成されなかった			
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>本科目の本試験の成績の平均値は、50.7(±11.9)点であり、再試験対象者が74名(72.5%)と昨年度と比較し増加したことから、学習目標は達成されたとは言えない。</p> <p>学生に自己評価では、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」98.8%、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」100%、「自分が学ぼうとしている専門分野の様々な課題を検討する力を得ることができた」100%と非常に高い評価であるが、「図書館の雑誌等の利用」10.3%→4.7%、「学術データベース等の利用」4.4%→2.4%、1日30分以上の準備「0回」44.7%、1日30分以上の復習「0回」44.7%、授業の記録を「しなかった」4.7%と、非常に学生のモチベーションの低さが感じ取られ、学修目標は達成できていないと考えられる。</p>					
<p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は国家試験受験のための演習科目である一方で「選択科目」の位置づけとなっているため、学生によっては動機づけが難しい場合があるが、学生の自己評価では「知識の確認、修正ができた」としており、「職業選択の参考になった」3.4ポイント、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」3.2ポイントと、就職活動と並行した学期の授業として、カリキュラムマップ上の位置づけは適切と考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質の評価において、「説明は理解しやすいものであった」3.5ポイントと高いことから、オムニバスの両教員に共通する「過去問を項目ごとにまとめ、取りまとめた」方法については適切と考えられる。 しかし、学生の学習量については、昨年からの改善が認められず(1回30分程度の準備0~1回の者73%→70.6%)、選択科目である所以の予習・復習に対するモチベーションの低さが見られたため、授業内容についての振り返りを行う自主課題等の実施の検討が必要である。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目における授業方法は、再試験対象者の減少など一定の成果を上げている。次年度以降も、現在の方法を基盤とし、各項目の分析をさらに詳細に行い、国家試験対策へ反映していきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	青木 るみ子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
給食経営管理実習Ⅱ	3	前期	選択	はい	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>選択科目であるが、栄養士・管理栄養士資格必修科目である。そのため、「必修科目である」と答えている学生が大半であり(96.5%)、また「資格取得に必要である」とする学生が23.5%であった。以上のことから、当該学年における資格取得への意識は高いことが示唆され、学習準備性に関しても十分であると判断される。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された		達成された	やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目の成績平均点は84.8(±8.4)点であり、学習目標は概ね達成されたと考える。学生の自己評価においては、「知識を確認、修復したり、新たに得ることができた」100%、「課題を検討する力を得ることができた」97.8%、「学びを深めたいと意欲を持つことができた」98.9%と高い評価をしており、DP1(知識)およびDP3(意欲)については概ね達成されたと考える。また、学習量の評価では、「1回30分程度以上の準備をどれくらいしたか」に対して65.6%の者が1回以上は準備をしたと回答しており、学年全体を俯瞰して、積極的な取り組みの姿勢が得られたと考えられる。また、授業準備のために雑誌(37.8%)、文献検索(17.8%)、インターネット利用(47.8%)が昨年より増加していた。栄養情報の提供を行う上で、図書館の利用を積極的に行ったようである。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>臨地実習Ⅰの準備性を高めるための科目でもあるため、特定給食施設の実務に則した内容を心掛けている。学生の自己評価では「専門分野で必要となる技術を身につけることができた」100%、「職業選択の参考になった」100%と、高い評価が得られている。後期科目である臨地実習Ⅰに向けて、専門職に対しての動機づけの強化につながったと考えられ、カリキュラムマップ上の位置づけは適切であると思われる。以上のことから、内容的妥当性は適切であると考えられる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価については、全項目とも平均して3.6～3.7ポイント(中央値4.0)と高いことから、授業の内容については適切であったと考える。また、図書館利用状況では4. 学生の目標達成状況でも示したように学科全体の利用率を大きく上回っていた(学科利用率 図書雑誌:3.4%、 学術データベース:2.8%、 インターネット:12.6%)。さらに、「学習量の評価」と合わせて検討すると、学生が科目に対して高い準備性を持ち、また授業を受講するにあたりモチベーションを維持していたということが推察されることから、授業の進め方に関しても適当であったと考える。一方で、情報収集の点ではインターネットの利用の頻度が高いため、情報の正確性を見極めるメディアリテラシーへの指導強化をしていきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>学生の到達度自己評価の結果から、管理栄養士として必要な知識及び技能に関する理解は深まったものと推察される。今後も、専門職として実務に携わるための指導を心掛けていくこととする。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	青木 るみ子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
給食計画論	2	前期	必修	はい	98

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①管理栄養士および3年次学外実習の要件科目であり、専門科目としては初期に履修する科目である。以上のことから、履修動機としては「必修科目である」が97.9%を占める。</p> <p>②管理栄養士として栄養・食事管理を計画する過程を学ぶ科目であるが、現カリキュラムでは「食事摂取基準」を学ぶ前に本講義がある。そのため、給与栄養量などの算定方法等が含まれ、講義だけでなく演習を取り入れながら理解を促すことに努めている。</p> <p>③「学習準備性」としては、毎年このことながら低いと思われた。管理栄養士という職種に対する理解不足が挙げられるが、この点は本講義を進める中で情報の提供はしている。</p> <p>④本科目は、後期科目「給食経営管理実習Ⅰ」の準備科目としての位置づけもしており、実習内容を意識させながらの講義を行っている。実際に、3年生前期科目「給食経営管理実習Ⅱ」で提供される給食の試食も義務化し、レポートを課している。給食の試食を通して、栄養・食事管理の実際に触れる機会としている。今後も継続していくこととする。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価の平均値は69.0(±11.0)点であり、再試対象者は36/98名(36.7%)であった。本科目の9割は筆記試験による「知識理解」を評価しているため、再試対象者は知識レベルで標準到達していない者が再試対象者となっている。授業評価の「授業の質評価」および「到達度自己評価」を見る限り、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」98.9%、「課題を検討する力」96.9%、「的確に判断する力」95.8%、「学びを深めたい意欲」96.9%と非常に高い評価である。以上のことから、DP1・DP2については、やや達成されたと評価される。一方で、「学習量の評価」では、約半数の者が、予習・復習などの授業以外の学習の取り組んでいない状況であった。理由としては、「他教科の課題があり時間がない」ときう意見が大多数を占めており、限られた授業時間の中での知識の定着を促す授業展開の必要性を感じている。これにより、DP3の達成度は低いと判断した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は専門応用分野としての位置づけであり、栄養・食事管理の実務的な科目である。また、管理栄養士の職務に直結する科目の中でも、最も早く履修する科目でもある。そのため、管理栄養士という専門職種への関心を向上させる意味でも重要な位置づけを持つと考えられるため、得られた知識を実践につなげることができるような授業計画が求められる。現在おこなっている「演習を併用した授業構成」は、到達度自己評価の結果からもみて、理解を深めることに一定の効果を得ていると考える。</p> <p>②DP3に関しては、学生の自己評価から3.5ポイント(昨年3.5)という数値が得られているか、受講さえ態度を含めて総合して評価する必要があるように思われる。一方で、「評価基準」3.5ポイント(3.7)、「説明の理解しやすさ」3.5ポイント(3.5)と評価しており、授業内容や方法に関しては適切なものであったと考えられる。</p> <p>以上もことから、内容的妥当性は問題ないと考えられる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>本科目は、後期実習の準備科目として、説明すべき重要項目が多くある。そのため一方向からの講義形式になりがちであるが、学生が理解しているか確認をとりながら進めた。しかしながら、「評価基準」「学習範囲や課題」「説明の理解」については、昨年度の評価よりも若干低い結果となったため、履修学生の理解度をよく検討する必要があると考える。また、学生間の学習への取り組み意欲には、予習・復習をする学生が昨年度より激減していた。これは、教員と学生双方に問題があると思うが、授業外に行う課題の提示の必要性を感じた。多様な学生に、専門的な内容を理解させることの難しさを感じる。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>本学科の2年次前期という時期は、専門科目が多くなり、学生が今後の進路の適正に関して不安を抱く時期でもある。講義で得られた知識が、実践へと移行している現場を観察してもらうため、3年前期・給食経営管理実習Ⅱで提供される給食の試食を義務付け、専門科目への学習意欲の向上を狙っている。しかし、「学習量の評価」では、予習・復習ともに取り組めていない現状が明らかとなり、その理由に「しかたがわからない」という記述が初めて見られた。学習意欲の向上以前に、「勉強の仕方」を指導する必要性を強く感じる。今後は、この点を考慮した講義内容の再構築をしていこうと思う。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	中島 俊介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
教育心理学	2	前期	選択	はい	15

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>平和で幸せな地域の実現と、より良い社会の建設は教育の成否にかかっている。教職を目指す学生には良い社会の形成に関わるという責任と自覚を持って授業に臨むよう学生に求めてきた。シラバスに記載したように教育に貢献できる心理学的知見を紹介しながら「理想を失わない現実主義者」としての教師になる内容を出来るだけ厳選して授業に臨んだ。評価アンケートの結果をみるとおおむね達成できたと思われる。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>達成の評価の根拠は定期試験の内容である。しっかりと授業者の求める論点に従って書かれている学生が多く、授業者の意図をよくくんで内容を理解していることがわかる。(客観的データとして学生の成績平均を参照して頂ければ分かる)授業アンケートの集計結果も満足のいくものであった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>「映像は100の言葉に勝る」と思われる。スマホ時代の真ん中にいる学生たちには言葉による講義だけでは集中力が続かないことは経験上理解している。その為に毎回の授業では映像を見て考える時間を取っている。アンケート結果をみるとこれは概ね好評である。ただ学生らの意見の中には出来るだけ授業者の話をききたいという要望もあるので今後この点を改善して新たな方法を試みてみたいと考えている。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>昨年度の取り組みでもあったが学生が達成すべき目標を4点シラバスに記載しているが、授業のはじめに説明しておいたこともあり、学生の自己評価および授業者の目から見ても満足のものであった。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>昨年同様に概ね年度当初の授業目標は達成したものと考えている。しかし多様性と個別化を体現している現代の学生のニーズに対応してグループワークや発見学習など多彩な講義時間の運営方法の工夫とさらなる知恵を出していく必要性を痛感している。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	新谷 恭明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
教育方法論	3	前期	選択	はい	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①教育方法論の歴史的な発展と理論的背景について重視した授業展開とした ②教育方法論の仕上げとして授業案を作成させていたが、本年度はその充実を図ってより多くの時間を割き、プレゼンをさせてみた。 ③理論的な部分については現実の授業案づくりに直結する内容を盛り込んでいきたい。 ④記述式の問題によるふりかえりをやめ、小論文形式に変更してふり返りの質を深めることとした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	どちらともいえない	やや達成された	やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	<p>学生の成績の平均値は82.56であり、全学科の平均値84.29を下まわっているが、理想レベル(80点以上)は上まわっているのでよしとすべきだろう。学生の到達度自己評価の平均値は3.3～3.6と他学科に比し低いが、「まあまあ」と「わりに」にのみ集中しているので、善くも悪くもなかったという実感なのだろう。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置付けから見ると真内容的妥当性 本科目は教職課程の科目であり、教員免許状取得を目的とする学生にとっては必修の科目となる。その意味ではどの学生も真摯に受講していたし、成績も良好であることから、内容的には妥当である。 ②DP、行動目標からの妥当性 成績評価から、学生はよく学んでおり、内容的に妥当であった。 ③まとめ 以上から内容的妥当性には問題がない。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価については平均値は3.3~4.0と幅が広いが、「説明は理解しやすいものであった」の項目についてのみ3.3で、「少しそうでないと思う」に2名の記入があった。もっとわかりやすい授業設計をしなくてはなるまい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>可もなく不可もなく、もう少しわかりやすい授業を、というのが学生の期待であろう。そこに向けての授業改善を行いたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	新谷 恭明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
教職概論	2	前期	選択	はい	15

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①昨年の実績及び教職をめぐる現況から、シラバスを一部変更した。第6回の「教師の倫理」を削り、「教師の服務Ⅱ」として教師の勤務時間の問題を検証した。また、2016年度には子どもの貧困問題を採りあげてみたが、教職の携わる範囲を超えているため、今回は視聴覚教材を活用して「子どもの心をつかむ」技法について学ばせた。</p> <p>②前年度の講義の感触を踏まえて、講義内容をわかりやすく調整している。</p> <p>③記述式の問題によるふりかえりをやめ、小論文形式に変更してふり返りの質を深めることとした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	やや達成された	どちらともいえない	やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	成績の平均値は79.43であったが、1名の不合格者(事実上の履修放棄者)を除いた平均値は81.70であって良好であった。到達度自己評価は平均値が3.1～3.7と決して高くはない。もう少し学生の関心を引き上げる努力が必要かもしれない。					
<p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ると真内容的妥当性 本科目は教職課程の科目であり、教員免許状取得を目的とする学生にとっては必修の科目となる。その意味ではどの学生も真摯に受講していたし、成績も良好であることから、内容的には妥当である。</p> <p>②DP、行動目標からの妥当性 成績評価から、学生はよく学んでおり、内容的に妥当であった。</p> <p>③まとめ 移譲から内容的妥当性には問題がない。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質についての学生の評価は3.2～3.5であり、可もなく不可もなくという範囲であろうと思う。殊に「説明は理解しやすいものであった」はほとんどが「まあまあ」に記入されており、よりいっそうの理解とを高める改善が必要だろう。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>教職科目で、必修なので、もう少しわかりやすい講義をすることで学生の意欲を喚起する必要があるだろう。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	八木 康夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
健康科学	1	前期	選択	はい	68

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>健康、運動、栄養、生活習慣、人体生理学、運動生理学、運動関連代謝系の内容の把握させることに重点を置いた。受講の動機は「関心があって受講した」と答えた者が25.8%(昨年13.6%)で、その他は「単位数の確保」と答えた者が59.7%(昨年81.4%)、「資格に必要」と答えた学生が14.5%(昨年9.1%)で、6割の学生は興味が充分でないにも関わらず受講していた。文系学科において健康等に関心のある学生が増えたことは望ましい。健康に情報は近年メディアを通して日常的にかつ断片的に触れている。トピックス、ダイエット、体作りを取り上げながら、自己を含め人の健康管理をする上で必要な知識を理解できるように授業計画を構成した。</p> <p>授業計画では小テストを単元毎に設け、予習復習範囲を明示し、教科書の内容を繰り返し読み込ませるよう促した。小テストは1週間以内に採点結果を各学生に示した。学生は小テストに出る問題を推測しながら予習をして授業に参加するようになり、授業で内容を理解しようという姿勢が見えるようになり、小テストのための復習をすることが当たり前のこととして定着していったように感じられた。それは1度目の小テストが終了した頃からクラス全体に予習復習が態度として表れたと感じられた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された	達成された			
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	<p>最終的な成績の平均値は74点であり、再試対象は3名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル(概ね80点以上として試験を作成)に達したものは25名であった。目標達成できたと答えた総数は61人(63人中)で高値を示した。</p> <p>目標別に見ると、「知識が獲得できたと思う」は62人、「事象理解の視点を得た」と思う者は62名、「課題検討力」を得た者62名、「判断力を得た」62名、「学習意欲が得られた」60名、「必要技能を得た」61名、「表現力の向上」56名、「倫理規範獲得」57名、「職業選択の参考」59名と高い自己評価を持たすことができた。欠席する者少なく全員が積極的に受講していた。今後、関心の数字を高めるような方法を考えたい。また、教科書以外の資料をインターネットを利用し、配布アンケートの回収を行い工夫のポイントを拡大したい。目標別に見ると、知識理解に関しては100%、思考判断に関する問題は100%の者が達成したと自己評価している。</p> <p>意欲関心では71名(75名中)であったが、種目やその歴史なども説明して、もっと深みを増していくことも次年度にむけて検討したい。学生による授業評価では、知識理解の観点、思考判断の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。これは、学生が思考判断で何が問われているかを自覚していなかった可能性が考えられる。次年度に向けて、ルーブリックで示すだけでなく、各授業のはじめに示す「ねらい」の表現を工夫するようにしたい。</p>					
*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性 本科目は「総合人間科学科目」であるが、自己の健康管理及び学生生活においても必須の基本的知識である。また、生活信念、健康志向、美容的自己管理においても大きく関わりのある科目内容である。学生が一定の成績を収めていたことから、内容的には文系の学生にも妥当な内容であったと考える。</p> <p>②DP, 行動目標からみた内容的妥当性 成績評価から、方法的妥当性は十分あったと思われる。</p> <p>③受講動機で内容に関心がある学生が25.8%で、単位獲得目的の学生が59.7%である。「受講動機」が曖昧な学生も多かったが、「学習到達度の自己評価」は100%が達成できたと考えており、栄養科の学生に妥当な内容であったと考える。</p> <p>以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、予習を全くしなかった者が36名(63名中)と予想より多かった。 シラバスを参考にしなかった者が36名(63名中)、授業計画を立てなかった者21名、図書館、データベース、インターネットの利用者は57名と大多数であった。 次年度に向けて、思考判断の行動目標をより具体的に示した上で、小テストの出題要点を事前に提示し、その内容を検討して授業に参加するよう促したい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>健康管理、健康づくりの基礎的知識の形成は概ね達成できた。授業過程を振り返ってみたとき、じっくり検討を加える時間がなかったため、予習課題の提示などで改善を図りたい。 以上から、毎回のねらいを具体的に示すこと、可能な限り単元毎のまとめの時間をとるか、復習課題を意識的に提示するようにすることをくわえていきたい。 配布物に対する学生の意見を取り入れ、来年度に改善を行いたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	八木 康夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
健康科学実習 I	1	前期	必修	はい	78

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講者は、学期の始講と最終講に、体力測定および体組成(体脂肪量等)の測定を行ない、運動量と身体組成や健康度との関係、運動効果の把握が体感できるように務めた。</p> <p>②3回の講義時間を用いて、「筋力トレーニングの方法、トレーニング機器の使い方」、「心拍数を基準とした持久性トレーニングの方法」、「ストレッチ体操の実際、ウォーミングアップとクーリングダウン」について講習を行い、授業外に、また将来にわたり自ら運動処方できるよう誘導した。</p> <p>③各受講者は、学期始めに標的運動量を算定し、毎授業時にカロリーカウンターを装着させ、自己の運動量を把握させ、運動意欲を喚起した。</p> <p>④1および3について毎時間記録と評価を行い、期末でそれらをまとめて実習期間全体の自己評価を行わせ、健康度と運動量、体組成の変容と運動量、身体運動能力の開発の程度と運動量の関係が理解できるように努めた。</p> <p>⑤健康科学実習 I では、入学直後であることも考慮し、集団スポーツ種目を実施した。チームミーティングを試合前後に行わせ、所属チームの勝利のための戦略立案と実行、チームの中の個人の行動のポジティブなあり方、組織の中の個人の役割を意識した行動の実行を促した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	達成された	達成された			
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は85点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル(概ね80点以上として試験を作成)に達したものは58名と予想以上に多かった。目標達成できたと答えた総数は74人(75人中)で高値を示した。</p> <p>目標別に見ると、「知識が獲得できたと思う」は73人、「事象理解の視点を得た」と思う者は70名、「課題検討力」を得た者71名、「判断力を得た」70名、「学習意欲が得られた」68名、「必要技能を得た」72名、「表現力の向上」71名、「倫理規範獲得」62名、「職業選択の参考」63名と高い自己評価を持たすことができた。欠席する者少なく全員が積極的に受講していた。今後、関心の数字を高めるような方法を考えたい。また、教科書以外の資料をインターネットを利用し、配布やアンケートの回収を行い工夫のポイントを拡大したい。目標別に見ると、知識理解に関しては100%、思考判断に関する問題は100%の者が達成したと自己評価している。</p> <p>意欲関心では71名(75名中)であったが、種目やその歴史なども説明して、もっと深みを増していくことも次年度にむけて検討したい。学生による授業評価では、知識理解の観点、思考判断の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。これは、学生が思考判断で何が問われているかを自覚していなかった可能性が考えられる。次年度に向けて、ルーブリックで示すだけでなく、各授業のはじめに示す「ねらい」の表現を工夫するようにしたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性 本科目は「総合人間科目」であるが、必須科目に位置付けられ、初年度教育における友達づくりやストレス解放、健康づくりに最適である。また、運動の原理原則を実体験し確認する場として有用である。学生は積極的であり一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>②DP, 行動目標からみた内容的妥当性 成績評価から思考判断に関する達成度が比較的高く、カロリーカウンター装着による目標運動量の達成意欲、試合数と勝利数の記載、体力体型の縦断測定比較考察は方法的に成功しており、妥当性は高い。</p> <p>③受講動機で内容に関心がある学生が6.0%で、単位獲得目的の学生が13.4%である。「受講動機」が曖昧な学生も多かったが、「学習到達度の自己評価」は100%が達成できたと考えており、栄養科の学生に妥当な内容であったと考える。</p> <p>以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

試合毎に、試合の内容の反省、チーム員の役割の適切さ、勝つための役割などについて短時間で話し合い、チームとして記録用紙にまとめた。その繰り返しは積極的な参加態度、リーダーシップを産み出し、集団の中の自分の役割を意識するよう促した。更に状況によつての言葉かけのタイミングを検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

授業目標への達成を受講者が評価しているが、さらなる学生の積極的な参加態度を産みだし、健康作りのための授業以外の運動習慣を促し、生涯スポーツを持てるような動機付けができるようにさらに改善したい。

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	銀光

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
健康管理概論	3	前期	必修	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①3年生になって統計学、栄養疫学と公衆衛生学の学習は終了したので、健康管理概論の講義は今までの勉強のまとめとして学習するよう指導し、管理栄養士国家資格取得するための意識を高め、できるだけ具体的な演習問題を解くようにしている。</p> <p>②初回の授業の最初に学習準備のため、シラバスを用いてオリエンテーションを行った。</p> <p>③授業で使用する配付資料を昨年より修正し、よりわかりやすい内容とした。具体的にはスライドの見やすさ、講義内容の論理性などについて修正した。</p> <p>④受講動機を見ると、「必須科目である98.8%」、「資格取得に必要である」18.1%で、「関心のある内容である」1.2%で、関心が低い内容であることを示唆するものであった。授業中の学生たちの勉強意欲を高めるため、授業中の質問や討論を増やしたい。</p> <p>⑤授業内容がはっきり聞き取れるよう言葉はゆっくり話すようこころかけた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	やや達成された		達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①本試験の成績の平均値は79(±8.2)点であり、不合格者は一人だった。標準的レベル(概ね70点以上として試験を作成)に達した。</p> <p>②昨年度と比べると、本試験の平均点は1点上昇した。次年度は理想レベル80点を目指し、成績を上げる工夫が必要である。</p> <p>③学生による授業評価においては、「自分なりの目標を達成した」と回答した者は98.8%であったが、「一回30分程度の予習・復習をしたか」という質問に対し、0回と回答した者は多かった。次年度は予習・復習の重要性を初回の授業のオリエンテーションで説明する必要があると認識した。</p> <p>④「図書館、インターネット利用」は非常に少なかったため、今後は課外課題を与え、図書館、インターネット利用を促進したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「専門教育科目、専門基礎分野」であり、必修科目である。管理栄養士国家試験に出題率が高く、また管理栄養士として働く上でも必要とされる知識である。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識・理解、思考判断に関する達成度が比較的良好であった。管理栄養士国家試験の試験問題に準じて定期試験問題を作成したので、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に 単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」の平均が3.4で、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、 学生が参加する機会が作られていた」の平均が3.4であった。昨年より0.2点上昇した。「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が 作られた」の平均は3.3で、授業の内容はよかったが、予習・復習の時間が想定より少なかったことが反省点である。次年度に向けては、知識・理解の行動目標をよ り具体的に示した上で、予習・復習をしっかりと、授業に参加するよう促していきたい。</p> <p>学生の意見として、説明が聞き取りにくいところがあったという意見があった。次年度からは学生の意見を受け止めて、改善していきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>専門教育科目にあたる本科目の位置づけから、知識理解、思考判断の面で課題は達成できたが、意欲関心の面では課題を残した。今後、予習・復習の重要性を しっかり説明し、学生の成績の向上を目指していきたい。</p> <p>授業過程を振り返ってみたとき、毎回授業中、質疑応答の時間を設けたことで学生の思考判断を高めることができた。しかし、意欲関心についてはさらなる工夫が 必要である。以上から、毎回の授業のねらいを具体的に示して、予習したかをチェックし、授業中の質問、応答、発表時間をとり、復習課題を提示して、学生の意欲 関心をあげる努力をしていきたい。</p> <p>説明内容に関しては、学生の意見を積極的に取り入れ、来年度にむけて改善して行きたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	相良 かおる

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
現代社会と統計	1	前期	選択	いいえ	67

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①四則演算、分数、百分率などの計算問題を相互に教え合いながら繰り返し解くようにし、数字や計算問題に慣れるように工夫している。</p> <p>②毎回確認テストを行い、学習状況を確認するようにした。</p> <p>③実際に気になる野菜・果物の重さを量り、バラツキ(分布)の概念を理解するようにしている。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された			
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> <p>履修生67名の成績の分布はA評価23.9%、B評価16.4%、C評価22.4%、D評価22.4%、E評価13.4%であった。自己評価の折に、行動目標についても「出来る」「何とか出来る」「出来ない」の3段階で評価して貰った結果、「出来ない」割合は、(1)31%、(2)20%、(3)11%、(4)18%であった。なお、「出来る」割合は、(1)13%、(2)9%、(3)38%、(4)22%であった。今回、全数調査や分布についてはテキストで説明し重要な個所に下線を引くに留め、計算問題に時間を割いたため昨年に比べ、(1)と(2)の出来ないの割合が増えている。</p> <p>(1) 全数調査と標本調査について説明できる (2) 分布とその表現方法について説明できる (3) 度数分布表の作成ができる (4) 標準偏差について説明できる</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>知識理解(DP1)、思考判断(DP2)については、一定の成績を収めていること、行動目標の自己評価の結果より、内容的に妥当であると考え。但し、(3)度数分布表の作成および(4)標準偏差についての説明で、「できる」と回答した学生が合わせて6割いるのに対し、「出来ない」と回答した学生が3割おり、数学的基礎学力の格差が大きくなっていることが分かる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>四則演算、平方根など中学で学ぶ内容を忘れていた学生が多くなって来たため、簡単な計算問題を相談しながら解く時間を設け、質問しやすい雰囲気を保つようにした。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>今回の授業で、大きな問題はなかったと考えている。 なお、カリキュラムの変更により次年度より「現代社会と統計」は閉講となる。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	境田 靖子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
公衆栄養学Ⅱ	3	前期	必修	いいえ	95

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は卒業必修科目であるが、後期に履修する臨地実習ⅡおよびⅢ(管理栄養士受験資格修得必修科目)の履修要件であることから、毎年、第1回の授業時に、本科目に課せられた要件を必ず説明している。しかし、履修動機「①必修科目であるを選択している」が98.8%は例年通りであるが、履修動機「②資格取得に必要である」が17.4%と、昨年より約13%ほど低下していることから、学生の資格取得に対するモチベーションが低下してきていると考えられる。</p> <p>例年、DP5の達成のために必要不可欠な「ヘルスプロモーションに基づく公衆栄養活動」について、2年時の復習を兼ねて第1回に実施しているが、昨年の反省から「具体例を紹介する」こととし、小テストにおいて「自分なりの具体例を考える」を取り入れた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された		達成された	達成された	達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目の本試験の成績の平均値は、70.5(±9.2)点であり、ほとんどの学生が標準的なレベルを達成したと推察されるが、理想的レベル(概ね80点以上)に達したものは16名と、ごく一部であった。しかし、昨年度より成績はアップしていることは評価できる。</p> <p>目標別のDP到達度では、DP2の思考判断の到達度は96.7%で、昨年と同じく目標が達成されたと考えられる。また、DP3の意欲関心(90.2%→95.7%)とDP5の技能表現(79.5%→97.8%)についても、昨年より上昇した。これは、昨年の例年の授業評価に対する自由記述を踏まえ、小テストの結果解説をなるべく行うようにしたこと、授業中に極力「怒らないように」したこと、学生の自己有能感が満足されたためと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は、2年時開講の公衆衛生学および公衆栄養学Ⅰを理解したうえで成立する科目であり、栄養行政についての具体的施策について学び、理解する科目であるため、CP上の位置づけは妥当であり、98.9%の学生が、「専門分野で必要となる技術を身につけることができた」と答えていることから内容的妥当性は確保できている。</p> <p>②栄養行政(公務員)の採用は、県で1～2名の採用、市町村においては採用試験すら実施されないため、学生は「国家試験受験のために必要な科目」と位置付けられていると考えられる(職業選択の参考になった98.9%)が、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」が98.9%と高いことから内容的妥当性が確保されていると考えられる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>昨年度の反省から小テストの配点を明記したため、「評価基準が明らかであった」は100%プラスの評価であった。 行政、法律、社会保障などの理解には中学高校レベルの社会科の理解が必要であるが、理解に乏しい学生が見られ、基本的な部分からの説明が必要な状態で、臨地実習および国家試験合格のための内容を網羅しようとするとう授業時間数が圧倒的に不足し、かつ、教員の質問に対し応答がないので、説明する具体例の数を増やすなどの工夫を行うと、どうしても授業進捗に差が出てしまった。次年度は、授業進行を守るように心がけたい。 「黒板が見えにくい」という意見に対しては、教室前方に「前の席がいい人」の自由座席を設けているので、学生には活用していただきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>小テストの回収および解説を行うことで、理解度が増した。次年度も継続して実施したい。 基本的な内容や、他の科目の復習をしていると講義時間が不足するため、次年度からが講義内容を大幅にカットし、「臨地実習レベルに必要なこと＝3年で」「国家試験レベルに必要なこと＝4年へ」と大胆に割り振る必要がある。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	銀光

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
公衆衛生学	2	前期	必修	いいえ	96

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①公衆衛生学は必修科目であり、国家試験資格取得に必須である。内容が幅広く、知識理解と思考判断が重要になる。受講動機を見ると、「必須科目である」94.3%、「資格取得に必要である」22.7%で、「関心のある内容である」0%で、関心が低い内容であることを示唆するものであった。</p> <p>②初回の授業の最初に学習準備のため、シラバスを用いてオリエンテーションを行った。予習・復習について説明を行った。</p> <p>③授業で使用する配付資料を昨年より修正し、よりわかりやすい内容とした。</p> <p>④授業中の学生たちの勉強意欲・関心を高めるため、授業中の質問や討論を増やした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	やや達成された		達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>①本試験の成績の平均値は72.1(±13.0)点であり、不合格者は12名であった。標準的レベル(概ね70点以上として試験を作成)に達したが、成績の差は大きかった。</p> <p>②昨年度と比べると、本試験の平均点は同じく、次年度は成績を理想的レベル(平均点80点)まで上げる工夫が必要である。</p> <p>③「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」と答えた者は93%であり、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」と答えた者も93%で、知識理解、思考判断については目標が達成されたと考えられる。</p> <p>④「図書館、インターネット利用」は非常に少なかったため、今後は課外課題を与え、図書館、インターネット利用を促進したい。</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「専門教育科目、専門基礎分野」であり、必修科目である。管理栄養士国家試験に出題率が高く、また管理栄養士として働く上でも必要とされる知識である。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識・理解、思考判断については目標を達成したが、態度に関しやや達成された。しかしながら、理想的レベルまでは達していなかった。管理栄養士国家試験の試験問題に準じて定期試験問題を作成したので内容的には妥当であったと考える。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」の平均が3.4で、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が3.3であった。昨年の評価より0.1点上昇した。「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られた」の平均は3.3で、授業の内容はよかった。また「説明は理解しやすいものであった」の平均が3.2で、昨年と同じであった。次年度に向けては、知識・理解の行動目標をより具体的に示した上で、講義スライドや説明に力を入れて授業を進めたい。</p> <p>学生の意見として、授業を進めるスピードが速く、聞き取りにくいところがあったという意見があり、次年度からは改善して行きたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>専門教育科目にあたる本科目の位置づけから、知識理解、思考判断、態度の面で課題は達成できたが、関心意欲の面では課題を残した。今後、公衆衛生学の仕事現場での重要性をしっかりと説明し、学生の関心意欲の向上を目指していきたい。</p> <p>授業過程を振り返ってみたとき、授業中、質疑応答、発表の時間が少なかつたことで、学生の積極的な発言など関心意欲を高めることができなかつた。以上から、毎回の授業のねらいを具体的に示して、予習したかをチェックし、授業中の質問、応答、発表時間を増やして、学生の関心意欲を高める努力を行って行きたい。</p> <p>講義スライド、配布物(授業の参考資料)に関しては、学生の意見を積極的に取り入れ、来年度にむけて授業進捗と内容説明について改善して行きたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	中島 俊介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
行動科学	2	前期	選択	はい	40

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>講義を受ける学生との対話ある講義を心掛けたいと準備した。講義の導入に当たり学生の興味・関心のある内容を話すために、毎講義の最後に本時の講義に対する感想や質問を書いてもらうこと死している。本時終了後にその内容を精査して回答や問題定義を考えて講義に臨んだ。このことでスムーズに講義の内容には入れた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	<p>多人数の講義だったがこれに対する評価は一定の成功を示していると思われる。それは以下の3点においてである。①成績評価のほとんどが平均以上の結果を出している。②自由記述の欄に、「ためになり、わかりやすく、面白い講義であった」と講義者の狙い通りのコメントが見られた。③学生の出席状況からみて、欠席傾向のあるものを除けば、95パーセント以上の学生が講義15回の90パーセント以上の頻度で参加していることは学習意欲の高さが示唆される。</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>アンケートに記入された受講動機や自由記述を概観すると「心理学的なことに興味を持っている」「人間行動の不思議を知りたい」「人の心を理解するために必要」など心理的な知識やそれを応用したいとの意欲が伺われるので、その成果から勘案してこのカリキュラムマップと講義内容との整合性は妥当であると思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>アンケートにあった講義中の「汚い言葉の使用を控えてほしい」についてはもっともである。授業の進め方と改善課題については大きな反省としたい。私語学生に対する言葉がきつすぎたと反省している。コミュニケーションの話を学生にすることが多いが、自分の授業が対話式のコミュニケーションを図っているかという点と難しい。どちらかという点と一方向に偏りがちであった。これは質問を投げかけてもなかなかそれに答える学生がいないことにも起因しているが、それでもやはりツウエイの授業を実現する努力をはかりたいと思う。上品な日武力的な言葉使いは今後の大きな改善課題である。努力を継続したい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>講義の道は経験は多いけれど、今年度の達成状況の総括的評価は3段階A,B,C評価のBの中ではなからうか。授業はアートだと思う。授業者の体調、意欲。内容の鮮度。それに受講者の体調や意欲と能力、抱える日常の悩みなどが微妙にからみ合う相互行為である。なそうとしても良い授業ができない場合もある。しかし良い授業ができたときはすぐわかる。終了後に出ていく学生の顔に如実に表れる。おいしい料理を食べたときと同じ顔になると経験的に思っている。本年度はその数においてやはりBの上であった。努力を重ねたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	三浦 元喜

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
情報の表現法	2	前期	選択	はい	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業の実施にあたっては、情報の表現や構成に関する知識に加え、技能をしっかりと身につけてもらうことに重点をおいている。ただし、単なるPowerpointやExcelの使い方だけでなく、より汎用性の高い知識・技能を身につけてもらうため画像を含めたWebページの作成や、簡単なプログラミングをとりいれている。</p> <p>知識定着に関しては、授業内で小テストを頻繁に実施したり、期末の確認テストを行ったりしている。また、講義での説明資料をすべてWeb上で閲覧できるようにしている。</p> <p>技能定着については、授業内での円滑な演習と、授業時間外の活動がシームレスに行いやすいように、Webブラウザ上での演習環境を提供している。また、Powerpoint/Excel/Photoshop Elementsの課題演習と、Webページ作成/Processingプログラミング作品作成のグループ活動および発表会を実施した。</p> <p>受講生の受講動機の6割が、「資格取得に必要である」ことを挙げている。あと、「必修科目である」「単位数確保」が主要な動機である。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	<p>平均点は88.8点で、標準偏差は16.4であった。受講者のおよそ半数が90点以上であったことから、教育目標はやや達成されたといえる。</p> <p>単なるPowerpointやExcelの使い方にとどまらず、Webページの構成法やProcessingプログラミングなど、抽象度が高く、高度な内容を含んでいることから、到達度自己評価はすこし低めになっている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>Processingプログラミング導入によって、コンピュータで扱える色の特性や、図形による表現を体験的に学習できるため、利点があると考えている。</p> <p>アニメーションやインタラクティブな表現については、学生にとっては面白く興味深い反面、自在に操るためには高度な知識が必要となることから、発展的な内容として扱うほうがよいとも感じている。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>ほかの講義の演習に時間がとられるようで、学生の自主的な予復習を期待しつつも、現実的には難しい現状があると理解した。 学生の負担を他講義と共有できるのが望ましいが、困難な場合は締め切りを柔軟にするなどして、ほかの講義や演習負担との重複を緩和するようにしたい。</p> <p>講義資料については、Web上で配布しているが、重要なものは印刷して配布するようにしたい。</p> <p>図書館や、インターネットの利用を促進したり、授業の記録を工夫するように促していきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>* 総括的評価 * 比較的抽象度・難易度の高い内容を扱っているため、学生に講義の方針や意図を十分に理解してもらうことが重要と感じている。</p> <p>* 課題 * 受講者のコンピュータスキルやリテラシーに、大きなばらつきがある。 タイピングスピードが遅い学生は、操作が遅れがちになるため、説明においていけない。 とくにスキルやリテラシーのひくい学生に対して、上記で述べた学習の動機付けを改善することが課題である。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	花沢 明俊

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
情報リテラシー	1	前期	選択	はい	60

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>高校までの学習状況で、パソコンの扱いに慣れている学生とそうでない学生が混在しているため、課題を平易なものから高度なものまで段階的に用意し、高度な課題の一部は上級者のみを対象としたオプション扱いとした。15回の授業回数のうち、中間試験を含む第9回までは基礎技術の習得を行い、第10回以降はグループワークによる実践的な取り組みとすることで、学習意欲の継続と学習内容に対する興味喚起に努めた。</p> <p>情報関連の知識・技術は、栄養学科の学生には必須と考えられるため、エクセルによる栄養計算やワードによる献立表の作成などを課題とし、在学中のレポートや発表だけでなく、栄養士としての実務に必須の技術であることを理解できるよう工夫した。</p> <p>また、後半のグループワークでは、食育グッズの企画・試作という課題を各グループで行った。創造性やコミュニケーション能力の育成といったグループワーク一般の目的に加え、栄養士や食に関わる職業の社会的意義や多様な活動についての情報収集を通し、職業そのものおよび身につけておくべき情報技術について、理解を深め実感を得られるよう学習プロセスをデザインした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績点は、課題の提出やプレゼンテーションなどのプロセス評価50%と、中間・期末試験の点数による達成度評価50%から構成されているが、課題の提出率が非常に高く、目標達成のためのプロセス遂行が確実に行われた。結果として、試験の点数も全体的に良好であった。</p> <p>授業アンケートの到達度自己評価の項目のうち、本科目に特に関係する(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることができた、の結果は良好であった。</p> <p>学習量の評価については、テキストによる予習を推奨したが、授業アンケートの結果から実際の予習回数は低率であった。予習とリンクした課題を設ける等の改善策を検討したい。授業外の課題を行っている学生は少ないが、これは授業の課題量が多く、一部は宿題となるため、授業外の課題を行う必要性は少ないと考えている。実際、自由記述に「必要ない」という記述が多い。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、全ての学科に存在する学科横断的科目であり、在学中のレポート作成や発表など様々な場面で必要となる。さらには、就職後の実務において、全学科の学生が要求される内容である。とりわけ、理系的な知識・技術を必要とする栄養学科では、さらに必要性が高い。このような観点から、学生それぞれの学習準備性の高低にかかわらず、全員がある一定レベルの技術水準を達成すること、授業終了後も技術習得を継続できるよう、受動学習だけでなくグループワークによる能動学習を行うこと、これら2点を柱としている。授業の妥当性が真に問われるのは、3年生、4年生の実践の機会や、就職後であるが、このような将来の展望から必要性を理解した受講動機の割合は少なく、履修率と掛け合わせると学科の全学生の2割程度と推測される。授業オリエンテーションなどを通じた受講動機の改善を望む。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>図書館利用で、図書や学術データベースの利用が定率であったことから、これらの利用について、明示的に指示した課題等を設定する必要があった。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>課題の提出率が非常に高かったことから、授業目標達成のためのプロセス遂行は、問題なく行われたと考えられる。また、結果として試験においても全体的に高得点であり、高い達成度が得られた。授業アンケートの受講動機において、将来への展望に欠ける回答が多いため、受講動機に対してより訴求性のあるシラバスに改善し、授業内容そのものも、より学習動機を理解しやすいものになりたい。できれば、受講後にどのように学習動機が変化したか、受講前と比較できるよう、アンケートを取って欲しい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	相良 かおる

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
情報科学演習 I	1	前期	選択		73

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業では、操作技術を習得する課題ではなく、情報を検索し、思考しまとめる課題を課している。また、サイバー事件に巻き込まれないための知識・技術を見につけることを重視している</p> <p>具体的には、タイピングの練習に日本国憲法の全文を打たせ、読めない用語にルビをふり、意味を調べ、印象に残った条文とその理由、意見・感想を最後に付加しレイアウトを整えて提出させている。ネット犯罪および著作権に関しては、警視庁のサイトで公開の対策ビデオ、および公益社団法人著作権情報センターのDVDを視聴し、Wordでレポートを作成している。また、4年間の学生生活で図書館を有効に活用できるように本学図書館司書による図書館検索・情報検索の授業を1コマお願いしている。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された			達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績は、AクラスはA:29.7%、B:16.2%、C:24.3%、D:21.6%、E:8.1%、BクラスはA:22.2%、B:38.9%、C:19.4%、D:11.1%、E:5.6%であった。授業評価の折に行った、行動目標について「出来る」「なんとか出来る」「出来ない」の3段階自己評価における「出来ない」の割合は、(1)25%、(2)3%、(3)3%、(4)3%、「出来た」の割合は、(1)10%、(2)72%、(3)25%、そして図書館の協力を得て図書&情報検索の授業を行った結果、(4)は68%であった。</p> <p>(1) 2進数およびデータ量の単位と接頭辞を理解する。 (2) ネットワークエチケットを守ることができる (3) インターネット事件の概要と予防方法を説明できる (4) 情報検索・文献検索ができる</p> <p><input type="checkbox"/></p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DP, CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性については、成績評価および行動目標の自己評価の結果より、「知識・理解 (DP1)」「思考・判断 (DP2)」「態度 (DP4)」共に内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>習熟度別クラスではないため、年々習熟度の格差が広がっているように思うが、相互に教え合える雰囲気を作り、教え合うことを奨励することで、友達作りにも繋がり、授業の進め方に大きな問題はないと考えている。 今年、授業には出席しながら未完成の課題を提出し単位を落とした学生が出た。先輩等からの楽勝科目との噂により、未完成の課題を提出しても大丈夫だと勘違いしたのではないと思われる。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>大きな問題はなかったと考えている。 なお、次年度より本授業は閉講となる。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	相良 かおる

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
情報科学演習 I	1	前期	選択	いいえ	73

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業では、操作技術を習得する課題ではなく、情報を検索し、思考しまとめる課題を課している。また、サイバー事件に巻き込まれないための知識・技術を見につけることを重視している</p> <p>具体的には、タイピングの練習に日本国憲法の全文を打たせ、読めない用語にルビをふり、意味を調べ、印象に残った条文とその理由、意見・感想を最後に付加しレイアウトを整えて提出させている。ネット犯罪および著作権に関しては、警視庁のサイトで公開の対策ビデオ、および公益社団法人著作権情報センターのDVDを視聴し、Wordでレポートを作成している。また、4年間の学生生活で図書館を有効に活用できるように本学図書館司書による図書館検索・情報検索の授業を1コマお願いしている。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された			達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績は、AクラスはA:29.7%、B:16.2%、C:24.3%、D:21.6%、E:8.1%、BクラスはA:22.2%、B:38.9%、C:19.4%、D:11.1%、E:5.6%であった。授業評価の折に行ったら、行動目標について「出来る」「なんとか出来る」「出来ない」の3段階自己評価における「出来ない」の割合は、(1)25%、(2)3%、(3)3%、(4)3%、「出来た」の割合は、(1)10%、(2)72%、(3)25%、そして図書館の協力を得て図書&情報検索の授業を行った結果、(4)は68%であった。</p> <p>(1) 2進数およびデータ量の単位と接頭辞を理解する。 (2) ネットワークエチケットを守ることができる (3) インターネット事件の概要と予防方法を説明できる (4) 情報検索・文献検索ができる</p> <p><input type="checkbox"/></p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DP, CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性については、成績評価および行動目標の自己評価の結果より、「知識・理解 (DP1)」「思考・判断 (DP2)」「態度 (DP4)」共に内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に
お示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

習熟度別クラスではないため、年々習熟度の格差が広がっているように思うが、相互に教え合える雰囲気を作り、教え合うことを奨励することで、友達作りにも繋がり、授業の進め方に大きな問題はないと考えている。
今年、授業には出席しながら未完成の課題を提出し単位を落とした学生が出た。先輩等からの楽勝科目との噂により、未完成の課題を提出しても大丈夫だと勘違いしたのではないと思われる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

大きな問題はなかったと考えている。
なお、次年度より本授業は閉講となる。

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	古田 吉史

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
食品栄養実習	2	前期	必修	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①食品栄養実習は必修科目であるため2年生の全員が受講している(受講動機からも読み取れる)。同時期開講の食品学Ⅱの内容を、実体験を通して具体的に！より深く！真剣に・楽しく学ぶ！ことに重点を置き、授業に臨んだ。</p> <p>②食品学Ⅱの講義内容を極力リンクさせること、並びにレポートの各項目ごとに課題を与えて自ら調べてまとめる機会を提供することで、学習内容のより効果的なすり込みを図った。</p> <p>③実習書や食品学Ⅱの講義でカバーしきれない内容については、適時配布資料を準備し学生に配布した。</p> <p>④講義の終盤に「まとめと振り返りテスト」を実施し、学生らの習熟度の把握と知識の定着を図った。</p> <p>⑤今年度から、北九州地域の伝統食である「糠漬け」「糠炊き」を実習に取り入れた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された			
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>再試験対象者が0名で理想的レベル(90点以上としてレポート試験を評価)が全体の68%であったこと、また学生による到達度自己評価において全ての項目の中央値が4.0又は5.0であったこと、さらに自由記述の意見に「説明が分かりやすく楽しい実習だった」等の記載が多く見られたことから、概ね当初の目標を達成できたのではないかと考えられる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は必修の科目であり全員が受講。受講した全ての学生が一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 学生の到達度自己評価(中央値が全て4.0又は5.0)および最終の成績評価から内容的には妥当で問題はないと考えられる。</p> <p>③まとめ 以上のことから、内容的妥当性には問題ないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方に関しては、学生からの意見の中に「説明が分かりやすかった」「理解しやすかった」「楽しい実習であった」等が多く見られたこと、並びに授業の質 評価においても全ての項目の中央値が4.0～5.0であったことから、次年度も今年度とほぼ同様な形式で進めていきたいと考えている。 また、今年度から北九州地域に伝わる伝統的発酵食品である「糠漬け」「糠炊き」を実習に取り入れたが、学生らにも好評であり、且つ伝統食文化の継承という観 点からも、次年度も引き続き採用したいと考えている。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>総合的に判断して、概ね目的を達成することができた。</p>
-------------------------------	----------------------------------

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	甲斐 達男

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
食品衛生学実験	3	前期	必修	いいえ	93

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機は例年どおりで、「必修科目である」が100%に近く、「関心のある内容である」は5%未満と、極めて低いレベルに留まっている。授業を通じて、できるだけ学術的な興味と関心を引き出せるように努めた。</p> <p>②昨年度までと同様に、実験班のチームワークが円滑に進むような人員配置になるよう配慮することによって、班の協力体制を築くことに成功した。</p> <p>③より一層、各自の理解を深めるために、臨機応変に課題やレポートを課すことによって、実験の要点や技術を会得できるよう便宜を図った。</p> <p>④管理栄養士国家試験にとって重要科目である「食品衛生学」を体験的に学ぶための科目であり、卒業後の勤務先で必要となる知識や技術を習得するための科目であり、その点に気を配りながら授業を進めた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された		達成された		達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①最終成績の平均値は84点であり、昨年の88点に比べ大差は無かった。再試対象者は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、90点以上の秀評価47%、42名(昨年は50名)、80点以上90点未満の優評価19%、17名(昨年は28名)と、昨年と比べて大きな差はなく、理想的なレベルに達している者が66%(昨年は78%)という、好ましい結果であった。</p> <p>②クラス間差については、AクラスとBクラスについて、平均点87:81、標準偏差12:15、分散144:227、秀22名:20名、優9名:8名、良8名:5名、可4名:14名であり、この学年においては大きな差は観られなかった。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は実験科目であり、「専門基礎科目」である「食品衛生学」をサポートする位置にあり、管理栄養士の職場において必修となるものである。学習の動機付けは容易であり、学生も一定レベル以上の良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から「思考判断」「技能表現」ともに達成度が高かったことから、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①「説明は理解しやすいものであった」の授業の質評価で低めのポイントであった理由は、本科目が「化学」をベースにしたものであり、高校時代に化学を十分に受講していない受講生がほとんどであることが一つの大きな要因として挙げられる。次年度は、さらに、実験の目的・手法・原理の説明を工夫して改善したい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>①基礎実習のなかでも重要なものにあたる本科目の位置づけから、成績評価を鑑みると、基礎的知識と技術の形成については概ね達成できた。 ②受講生が比較的苦手とする化学実験であり、実験目的・手法・原理の解説について、昨年に比べてより改善を押し進めたが、さらに、判りやすくするための工夫を行って行きたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	古田 吉史

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
食品学Ⅱ	2	前期	選択	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①食品学Ⅱは管理栄養士の必須科目でもあるため、ほぼ全員の学生が受講している(受講動機からも読み取れる)。また、食品学Ⅰとは異なり食品学Ⅱは、実際の食品により近い内容であるため、学生に理解しやすいようにできる限り多くの具体例を挙げて説明することを心掛けた。</p> <p>②同時期開講の食品栄養実習(加工食品の製法や特性について学ぶ)での実体験に講義内容を極力リンクさせることで、学習内容のより効果的なすり込みを図った。</p> <p>③講義中における学生の集中力や習熟度の向上、「見る・聴く・書く」のバランスを良好に保つために、毎回穴埋め式のテキストを準備し学生に配布した。</p> <p>④講義の終盤に「まとめと振り返りテスト」を実施し、学生らの習熟度の把握と知識の定着を図った。</p> <p>⑤昨年度学生から挙げた「スライドの緑の字が見えにくかった」という意見については、より見やすい深緑や青色に修正し改善を図った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均点が88点、再試験対象者が3名で、理想的レベル(90点以上として試験を作成)が全体の59%であったこと、また自由記述の意見に「分かり易い授業であった」「楽しい講義であった」等の記載が複数見られたことから、概ね「知識理解」と「意欲関心を引き出す」という観点においては、当初の目標を達成できたのではないかと考えられる。</p> <p>「思考判断」に関しては、学生の到達度自己評価において「課題を検討する力を得ることができた」や「的確に判断する力を得ることができた」の項目がどちららも中央値が4となっており、自身の能力をある程度評価していることが読み取れる。また、今年度から定期試験問題に思考判断を問う問題を新たに加えたが、その平均点が5点満点中3.7点であったことから、思考判断能力も概ね醸成することができたのではないかと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は専門の選択科目であるが、i 管理栄養士には必修の科目であること、ii また実際の食品に関する内容で管理栄養士資格取得希望の有無に拘らず、広く「食」に関連する仕事を志す学生にとっては非常に関心が高いことからほぼ全員が受講している。また、受講したほとんどの学生が一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 「知識理解」「思考判断」「意欲関心」の何れの達成度についても問題ないと考えられる。</p> <p>③まとめ 以上のことから、内容的妥当性には問題ないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方に関しては、(学生による意見討論や情報収集に重きを置くのではなく)講義中に如何に学生らが講義の内容に興味・関心を抱き、限られた時間の中でどれだけ多くの事柄を集中して学べるかということを重視して講義に取り組んでいる。そのために、穴埋め式の配布テキストを毎回学生に提供しているが、学生からの意見でも、「授業の説明が分かりやすい」「説明が丁寧である」等の意見が見られたこと、並びに授業の質評価における「説明は理解しやすいものであった」の項目の平均点が4.3であったことを鑑み、授業の進め方としては次年度もこの方式を採用していきたいと考えている。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>基礎的知識の習得、思考判断能力の育成、意欲・関心の醸成の何れに関しても、概ね目的を達成することができた。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	中島 俊介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
心理学	1	前期	選択	はい	63

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>テレビや新聞を見るにつけ現代社会はストレス社会であると感じる。心理学の分野に期待が高まっている。本講義では基本となる心理学一般の基礎知識や教養的知見の修得を目指しながら、専門性のある生涯発達心理学の視点から授業を組み立てている。それは今を生きる学生に最も必要な「生き方の模索」に関わる問題だからである。昨年度の大きな課題は講義中の集中力をいかに途切れないようにキープさせるかという点であった。このため講義途中で「映像」を多く取り入れた。自由記述などを読むと概ね成功したと理解できる。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>昨年度に引き続き、全体を通して達成されたという根拠は「定期試験の結果」である。優れた及び良しの合格点を取った学生はほぼ100パーセントに達した。定期試験は記述式がその中心であるが、記載の内容も的を得たものでありしっかり書かれており理解の進んだものであった。また学生の授業評価アンケートの記述にも「ためになった」「分かりやすかった」「面白かった」などが多数あり知識理解と意欲関心について一定の水準を保ったことが伺えると思った。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>昨年度と同様に、毎回の授業について、ミニ感想や質問を自主的に書いて提出するように求めている。この効果は大きく好評のようである。自由記述を見ると、これに関する「質問の回答の時間が一番良かった」「心理学だけでなく先生の人生の話が面白かった」等の記述もあり、本科目の目標である「ストレスの多い現代社会を生き抜く健康な心構えを形成する」というねらいが達成されたと評価できる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>昨年度の問題点であった、自学自習を促すための「次回の授業までに日々の生活の中で心にとどめておいてもらいたいこと」を伝えた方が良いのではないかと授業アンケートの結果からまだまだ改善されていないと言える様である。昨年同様に学習量を高める工夫の一つとして予習の課題設定を今後さらに試行継続してみた。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>講義シラバスで年度当初の学生に期待した行動目標は概ね達成出来たと思う。しかしまだ授業中に集中力が途絶え、睡眠モードに切り替わる学生が幾人か存在する。注意の仕方に工夫をくわえたい。睡眠学習者0を達成するのは容易ではない。今年度取り組んだ映像や教師の発問、討議話題の挿入などまだ工夫の余地を継続して続けたい。がんばりたいと思う。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	尾上 均

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
生化学Ⅱ	2	前期	必修	いいえ	124

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本講義は、科目の本質上、特に論理的思考を促すことに重点を置いて進めている。一年時の選択科目である「生活の中の化学」、および一年時の必須科目である「生化学Ⅰ」で講義した知識・理論と運動性をもたせるように心掛けている。今回の受講動機は、「必修科目である」96.4%、「資格取得に必要である」25.0%の2つに集中しており、一方、「関心のある内容である」は、例年通りわずか0.9%にとどまっている。苦手意識を持っている学生は、実際には最初から取り組んでいない(人並みに学習していない)だけで、本当に苦手であるかどうかは定かではない場合が多い。栄養学と生化学はその起源が同一という見方もあり、かつ国家試験受験資格取得に必須の科目でもある。好むと好まざるにかかわらず、栄養学を学ぶことを決意した以上は、生化学に正面から取り組むべきであることを第一回目の講義で説明した。また、生化学が生理学や基礎栄養学をはじめとするいくつもの科目と関連していることを折に触れ強調しつつ講義を進めた。</p> <p>②毎年、キーポイントやキーワードをまとめた資料を作成・改訂し、配布している。講義の前後、あるいは試験前に目を通したうえで、学習に取り組むことを勧めている。</p> <p>③講義に用いるスライドは、前年のものに改訂を加えて用いた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	どちらともいえない		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>受講者数は、再履修を含め124名であった。最終成績の平均は77点、不合格者は20名(未受験者3名を含む)であった。うち、優(80点以上)以上の成績を修めた学生は、55名であった。一方、50点未満での不合格者が15名(未受験者3名を含む)もいた。成績が高得点と低得点の両極端に分布している傾向にあった。授業の予習が0または1回の学生が93名、一方、授業の復習が0または1回の学生が90名であった。ほとんどの学生が普段からの予習・復習は特に行っていないが、試験前に学習することで、充分合格圏に達していたと考えられる。50点未満での不合格者は、予習・復習を行わず、試験前の学習も不足していたのではないかと考えられる(要するに完全な勉強不足)。試験問題は、基礎的知識(化合物や代謝経路の定義等)と問う問題、基礎的な思考力を要する問題を併せて約9割、やや高度な思考力を要する問題を若干の割合で出題し、基礎問題だけでも合格点を達成できることを心掛けて作成した。合格者の点数の優劣は、主に基礎問題での得点率に依存していたように見受けられた。やや高度な思考力を要する問題の正解率が昨年度よりは低かった。このことを反映してか、本年度は90点以上の高得点者が18名と例年並であった。物事を論理的に深く思考する姿勢をもった学生を増やすために、今後、いかにすべての学生に意欲を持って受講させるかが課題と考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CPでの位置づけは、専門基礎科目であり、卒業必修かつ国家試験受験資格取得必修である。合格率、平均点、高得点者の数から考え合わせて、内容的には妥当と考える。</p> <p>②DPでの位置づけは、知識理解、思考判断、および意欲関心を問う科目である。試験での知識理解、思考判断を問う問題の正解率の高さから、前二者に関しては、おおむね妥当な内容であったと考える。やや高度な思考力を要する問題は、意欲や関心を持って普段から学習に取り組む必要があるが、本年度は例年に比べて得点率が高かったことは、好ましい結果であると考え。今後もこの傾向が継続させることが肝要である。</p> <p>全体としては、おおむね妥当な内容であったと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、「説明は理解しやすいものであった」の平均が2.7と低かった。説明の仕方、講義資料やスライドの図表や文章は、よりわかりやすくなるように毎年見直しと改訂を加えているが、さらなる精査に取り組むことにする。特に重要な基礎知識、論理については、次年度から今まで以上に繰り返し説明するよう、心掛けたい。次年度に向けては、思考判断の重要性をより具体的に示した上で、授業に参加するよう促していきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>本年度は、合格率、平均点とも、従来より高かった昨年度と同等であった。その意味では本年度も達成度は向上しているものと考えられる。本年度も学生の受講態度は、2年生、再履修者ともに全体としては、高評価に値するものであった。このことは、高いレベルでの合格率の維持に寄与した要因の1つと考えられる。本年度も講義中や講義後にわからないところを質問して、解決しようとする学生は、相変わらず少なかった。50点未満の低得点の学生は、勉強不足に加えて、疑問点を放置して解決していないために、多くの学生が確実に得点する問題を間違えている印象を受けた。学生の学習意欲を以下にして引き出すかが、課題であろう。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	尾上 均

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
生化学実習	2	前期	必修	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①実験を中心とした実習科目であることから、本科目では、事実や結果を客観的かつ正確に観察し、その上で論理的に解析、考察に取り組むことに重点を置いている。講義科目である生化学ⅠおよびⅡで講義した内容との連動性を重視している。今回の受講動機は、「必修科目である」100.0%、「資格取得に必要である」19.8%の2つに集中しており、一方、「関心のある内容である」はひとりもおらず0.0%であった。今年の受講学年は、同時期開講の生化学Ⅱにおいては、良好な平均点と合格率を示している。座学で得た知識や論理を以下に実践の場で、活用しさらに発展させる力を養うことが、将来管理栄養士として現場で日々遭遇することになる膨大な情報、事例を客観的に把握、分析・解析し、根拠に基づいた栄養指導、治療を実現していく上で重要であることを強調して、授業を進めた。</p> <p>②例年用いている私が作成した実習書に、必要な変更や改訂を加えて配布した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成されなかった	どちらともいえない	どちらともいえない	やや達成されなかった		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終成績の平均は69点、不合格者は4名であった(昨年度0名)。うち、優(80点以上)の成績を修めた学生は、4名であった(昨年度0名)。本科目の成績評価は、レポート60%、授業への取り組み40%で行っている。レポートでの評価内容の内訳は、知識理解20%、思考判断35%、関心意欲5%、一方、授業への取り組みでの評価内容の内訳は、知識理解10%、思考判断25%、関心意欲5%である。実験中に観察された事実、あるいは実験から得られたデータを客観的かつ正確に把握し、それらを論理的に解析することにより結果を導き出す、あるいは疑問点についても論理的考察を加えることを学生に要求し、それらの点を評価した。ほとんどの学生が実習にまじめに取り組んでいたこと、またその中のかなりの割合の学生が積極性や意欲も見せていたことが、実習への取り組みに対する高い評価に結びついた。その一方、高得点者が少ないのは、客観性、正確性、および論理性がレポートに表れておらず、多くの学生のレポート評価が低いためであると判断される。座学に比べて実習の成績が低いのは、教科書的な丸暗記等はまじめにこなすが、予想しない結果がもたらされることが多い実験において、得られた事実を論理的に分析する力あるいは意欲が低いと考えられる。レポートの評価が低いもう一つの明らかな要因は、文章の稚拙さ、不正確さ、および用いた記号や語句の定義がなされていないなど、国語力に根ざしたものである。また、不自然に似通った文章や論理展開を含むレポートが複数見られたことも低評価の要因である。本年度の成績は、平均点は昨年並み、成績優秀者(80点以上)は昨年のゼロから4名へと増加した一方、不合格者が昨年のゼロから4名に増加した。不合格の主な理由は、欠席によるものである。それらを総合的に判断して、全体を通した達成度と意欲関心をやや達成されなかったと評価した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CPでの位置づけは、専門基礎科目であり、卒業必修かつ国家試験受験資格取得必修である。平均点や合格率だけをみると、内容的には妥当と考えられるが、学生が考える力をつけるという点(数字には表れにくい)においては、これからも引き続き改善を目指していきたい。</p> <p>②DPでの位置づけは、知識理解、および思考判断を問う科目である。前者に関しては、おおむね妥当な内容であったと考える。思考判断に関しては、今後の課題となる。</p> <p>全体としては、一応妥当な内容であったと考える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、「説明は理解しやすいものであった」の平均が3.2と昨年の2.9に比べると多少上がっているものの、本年度も一番低かった。説明の仕方、実習書の図表や文章は、よりわかりやすくなるように毎年見直しと改訂を加えているが、さらなる精査に取り組むことにする。特に重要な基礎知識、論理については、次年度から今まで以上に繰り返し説明するよう、心掛けたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本年度の合格率、平均点とも例年と同レベルであった。座学の成績から考えるとっと好成绩を期待したい。学生に実践の場で考える習慣、力をつけさせる工夫を模索していきたい。次年度は、本科目が生化学の講義内容と連動していることをさらに強調し、学生の意欲促進を目指す。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	尾上 均

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
生活の中の化学	1	前期	選択	いいえ	78

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は選択科目である。今回の受講動機は、「単位数を確保する」49.2%、例年2位の「教員に勧められた」が20.0%(前年度は35.3%)、一方昨年3位の「関心のある内容である」24.6%が2位であった(前年度は22.4%)。受講動機のパーセンテージと準位を裏付けるように本年度の学生には、「化学」をいう科目に意欲的に取り組もうとする学生が明らかに多いことがその受講態度から覗かれた。講義では、化学の基礎的知識と化学反応に関する基本的な理論・法則を重点的に扱っている。特に生化学を学んでいく上で(私の講義を理解していく上で)必要な項目に焦点を当てて行っている。学生には、化学的な用語や化合物の定義、代表的な有機官能基の代表的な反応、触媒の定義と働き、酸化還元について、最低限の定義、理論および法則を身につけることが、特に今後生化学を学んでいく上で重要であることを強調し、指導している。</p> <p>②講義は、スライド中心に勧めている。レジュメは、用いたスライドから特に重要と考えられるものだけを抜粋して配布した。すべてを配ると講義をおろそかにする学生が増えると考えていることが理由である。しかし、講義中は、スライドの丸写しにだけ集中している学生が少なからず見られるのも事実であり、この点が今後の課題である。</p> <p>③講義に用いるスライドは、前年のものに改訂を加えて用いた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終成績の平均は70点、不合格者は21名であった。優(80点以上)以上の成績を修めた学生は19名、うち90点以上が6名であった。本年度の成績は例年並みであった。一方、50点未満での不合格者が13名もいた。成績が高得点と低得点の両極端に分布している傾向にあった。授業の予習が0または1回の学生が53名、一方、授業の復習が0または1回の学生が55名であった。予習復習を事実上しない学生は比較的少ない方であるものの、6回以上行った学生はゼロであった。講義中に時折、学生に質問をすると、必ずしも正解でなくとも少なくとも自分の考えを述べる姿勢を見せる意欲的な学生が、本年度は特に多かった。約25%の学生が受講動機に「関心のある内容である」と回答したことが相関があると考えられる。試験問題は、基礎的知識(化合物や代謝経路の定義等)と問う問題、基礎的な思考力を要する問題を併せて9割以上、やや高度な思考力を要する問題を若干の割合で出題した。本年度の成績は、数値上は、昨年より低く、例年通りであったが、やや高度な思考力を要する問題の正解率は、恐らく過去最高であった。多くの学生が、少なくとも講義には意欲的に取り組んだことを反映した結果であると考えられる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CPでの位置づけは、CP-1、選択科目である。合格率が高かったこと、平均点、高得点者の数から考え合わせて、内容的には妥当と考える。</p> <p>②DPでの位置づけは、知識理解、思考判断、および意欲関心を問う科目である。すべてにおいて目標達成度は高く、内容的には妥当と考える。</p> <p>全体としては、妥当な内容であったと考える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>今年度は、比較的良好な目標達成度が得られたと考えている。学生の受講態度は、昨年同様に意欲のある程度感じさせるものであった。本科目が必須科目である生化学の前段階的な内容を含むため、本科目を受講することが生化学の単位を取得する上で有利であることを認識している学生が増えていることが要因のひとつである可能性がある。</p> <p>本科目の講義内容は、講義のタイトルである「生活の中の化学」に鑑みると、生活や身の回りの事例等に則するという面が本年度もまだまだ不足していたと考えている。次年度以降は、タイトルに則した事例をもっと取り入れた内容にすることで、多くの学生にもっと親しみの持てる内容の講義にしていくつもりである。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本年度は、合格率、平均点とも例年並みであった。本年度は、達成度について特記することはない。本年度の学生の受講態度は、高評価に値するものであった。このことが生化学Ⅰへとつながっていくことを期待する。次年度からも講義の内容に改良を加え、学生の意欲を高いレベルに維持していくことが課題と考える。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	野原 三郎

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
生徒指導論	3	前期	選択	はい	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①「学生の授業評価アンケート」より、受講動機として回答総数9名中8名が「資格取得に必要である」となっており、教員免許取得に向けた意識が強いことが分かる。</p> <p>②近年学校・生徒をめぐる事件事故の発生に伴い、学校・教師の危機管理意識やコンプライアンス意識の不足が指摘されていることから、授業の導入にあたっては、現在進行している教育問題や児童生徒に関する事件事故についての新聞記事を用い、学校現場や社会に直結した授業となるよう工夫した。③教育課題の解決については、学生に関係法規や中教審答申等を提示しながら、問題解決型の講義を行った。さらに、講義の後に演習としてSST、構成的グループエンカウンター、犯罪やいじめ防止のロールプレイングを行うなど実践的な内容となるよう工夫した。④受講生は全員3年生であり、実社会への接続期となり、学校教育に関する意識や関心を持たせるため、現代の教育課題についての論作文を提出させ、添削を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<p>・達成度自己評価について(回答総数9名)</p> <p>① 到達度自己評価の「自分なりの目標を達した」の項目では、「かなり」が回答総数9名中0名、「わりに」4名となっており、「まあまあ」が5名となっており、否定的回答はなかった。</p> <p>② 学生の<知識><理解>に関する達成自己評価を見ると、それぞれ肯定的回答は、「かなり」「わりに」「まあまあ」の順で「3名、4名、2名」「0名、6名、3名」となっており、否定的回答はなかった。</p> <p>③ 学生の思考判断に関する<検討する力><判断する力>それぞれ肯定的回答は、「かなり」「わりに」「まあまあ」の順で「0名、8名、1名」「0名、4名、5名」であり、否定的回答はなかった。</p> <p>④ 同じく意欲関心に関する<意欲>では肯定的回答は、「かなり」「わりに」「まあまあ」の順で「1名、6名、2名」の順となっており、否定的回答はなかった。</p> <p>⑤ 技能表現に関する<技術>とは肯定的回答は、「かなり」「わりに」「まあまあ」の順で「1名、2名、5名」の順となっており、否定的回答はなかった。</p> <p>⑥ <コミュニケーション、表現力>の習得では、肯定的回答は「かなり」「わりに」「まあまあ」の順で「2名、2名、5名」となっており、否定的回答はなかった。</p> <p>⑦ <職業倫理>や<職業選択>での肯定的回答は「かなり」「わりに」「まあまあ」の順で「0名、6名、3名」となっており、否定的回答はなかった。</p> <p>⑦ <職業選択>だの肯定的回答は、「かなり」「わりに」「まあまあ」の順で「1名、6名、2名」となっており、否定的回答はなかった。</p> <p>全体として肯定的回答「かなり」に最も多く、「わり」が最も多くなり、否定的回答はなかった。結果として「やや達成」で済んだ。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>6. 授業の進め方とその方向性について</p> <p>① 学生自身が課題解決に向けて主体的に学習する姿勢を持つようブレインストーミングやKJ法を用いて意見表明やコミュニケーション能力を育む機会を設けた。</p> <p>②「授業の質の評価」については、全ての項目で<評価基準>の平均値が「4」以上となっており、概ね目的は達成された。その原因としては、質問(4)「学生が参加する機会」の項目で「かなりそうだと思う」と回答した学生が19名と60%となっており、このことから学生参加型の自己探求型の授業を行った為である考えられる。また、福祉科の学生は目的意識を持って授業に参加する者が多く、学生の参加意欲が感じられた。</p> <p>③「学習量の評価」については「(1)授業の準備」については1回と回答した者が10名、2回と回答した者が10名となっている。</p> <p>④「復習」についてもほぼ同数である。家庭学習として、論作文の課題を計4回課し添削を行ったが、回を追うごとに論作文の質に向上が見られた。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>6. 授業の進め方とその方向性について</p> <p>① 学生自身が課題解決に向けて主体的に学習する姿勢を持つようブレインストーミングやKJ法を用いて意見表明やコミュニケーション能力を育む機会を設けた。</p> <p>② 「授業の質の評価」については、5つの質問項目中3つが中央値が「4」以上となっており、概ね目的は達成された。質問④「学生が参加する機会」と⑤「質問に答える機会」では、9名中7名が「肯定的回答「かなりそうだと思う」と回答しており、授業の目標が達成された。その要因として、学生参加型の自己探求型の授業を行った為である考えられる。</p> <p>③ 「学習量の評価」については「(1)授業の準備」については1回と回答した者が4名、2・3回、4・5回と回答した者が1名となっている。</p> <p>④ 「復習」についてもほぼ同数である。家庭学習として、論作文の課題を計4回課し添削を行ったが、回を追うごとに論作文の質に向上が見られた。学生からの意見として、「学生が出した意見や発表に対して、良くほめてくれたので、自分の意見が言いやすかった」等の意見があった。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>総括的評価と来年度に向けての課題</p> <p>評価としては概ね満足できるものがあったが、まだまだ改善すべき点も多い。</p> <p>① PBLやアクティブラーニングをさらに推進する。</p> <p>② 知識の定着を図り家庭学習へ繋いで行くために、さらに工夫が必要である。</p> <p>③ 本年度取り組んだブレインストーミングやKJ法、開発的生徒指導の例としての構成的グループエンカウンターなど、実践的な活動をさらに充実させることによりコミュニケーション能力や、実践力を高める。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	青木 るみ子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
総合演習 I	3	前期	選択	はい	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①3年後期・臨地実習 I の事前指導を実施するための科目である。履修動機としては「必修科目である」が98.7%を占め、「資格取得に必要」が20.3%を占める。管理栄養士・栄養士資格必修選択科目であるため、前述のような結果となった。</p> <p>②臨地実習に向けての、一般常識から特定給食施設に関する専門的知識の復習という広範な内容を盛り込んでいることから、オリエンテーションにて全体の計画を詳細に説明するようにしている。</p> <p>③特に、臨地実習に向けての種々の準備を行う時期に関しては、学生自身にスケジュール管理を徹底するように指導し、随時、一斉メールを利用することで周知を図っている。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		達成された		やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価の平均値は77.7点であり、再試対象者は2名(追試1名含む)であった。授業評価の「到達度自己評価」を見ると、「判断力」「課題検討」「意欲」「技術習得」「コミュニケーション力」等に関する自己評価は3.4～3.5であり、DPの知識理解および意欲関心に関する自己評価が高い。講義への関心の高さは、試験結果、課題発表や、自己評価で判断することが出来たが、学習量の評価では、67.4%の者が予習に、52.8%の者が復習に取り組んではいるが、この割合は昨年度より減少しており、特に復習に関しては約50%が取り組んでいない。一方で、「図書館利用」に関しては、「図書、雑誌」43.8%、「データベース」23.6%、「インターネット」55.1%と昨年より利用者率の向上が見られた。以上のことから、自ら情報を収集し、学習しようとする姿勢が認められるため、次年度以降もこの姿勢を伸ばしつつ、初回オリエンテーション時における事前事後学習の推進や、図書館利用、データベース利用の推進も行っていく必要がある。以上の評価結果よりDP1、DP3、DP4は概ね達成できたと考えられる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、3年後期より開講されている臨地実習 I の準備科目である。特に臨地実習 I は、最初の学外実習となり、社会規範や礼儀作法から指導を行わなければならない。そのため、専門科目の位置付けてありながら、専門知識の指導のみに重点を置くことができないという矛盾を抱える。この点に関しては、昨年度の反省も踏まえ、専門分野担当の先生方との連携を通して、弱点の補強に努めた。臨地実習 I の事前指導科目としての位置づけでは、内容的妥当性は高いと思われる。新カリキュラム適用学年までは、専門科目の修得が臨地実習 I の事前指導に追いついていない現状があるため、今後も新カリキュラム開始まではフォローを要する部分が多いことを念頭におきたい。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>「授業の質評価」では、3.5～3.6ポイントと高い評価であった。しかし、昨年度よりポイントが低下した「学生からの質問の受付」に関しては、改善を要する と考える。しかし、本科目と併用して複数の科目を担当し、尚且つ、授業時間外の指導を行っているため、現状以上の時間を割くことは厳しい状況にある。今後の検討課題である。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>科目は、学内で得た給食経営管理に関する知識と技術を学外実習(臨地実習Ⅰ)で実践可能とするための事前指導期間に位置付けられている。事前学習ノートによる知識の振り返りの必要性について十分に指導したため、実習前の予習項目が明確になったと考える。一方で、社会規範に関しては、外部講師によるマナー講習を実施するなど、担当教員からも十分な指導が行えたと感じており、目標とする理想レベルに近い状態まで到達できたと思う。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	天本 理恵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
総合演習Ⅱ	4	前期	選択	いいえ	102

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目では、『臨床栄養』および『応用栄養』の栄養学分野において、最新情報や重点事項を解説する。『臨床栄養』については、さまざまな症例検討を行い、これまでに学んだ専門的知識を統合して、適切な栄養管理ができる実践的能力を養うことを目的としている。また、『応用栄養』では、食事摂取基準や身体活動基準、授乳・離乳支援ガイド等の厚生労働省が通知するガイドラインを活用し、各ライフステージに対応した適切な栄養管理が出来る力を養うことを目的としている。</p> <p>本科目は管理栄養士受験資格の必須科目としての位置づけであるため、多くの学生の受講動機は『必須科目である:92.3%』『資格取得に必要である:45.1%』との理由である。授業準備性について、昨年度において2015年度より事前・事後学習の時間確保は確保されていたものの、十分とは言い難かったため、今年度の講義では、資料配布ならびに確認テストの導入等、事前事後学習に対し強化することを試みた。特に事後学習への取り組みが低いため、『応用栄養』においては、毎回の講義終了時に確認テストを導入し、復習につなげるように試みたが、40%程度の学生が復習を行っていないと回答していたため、次年度以降も事前事後学習の強化を継続していきたいと考える。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、臨床実習Ⅱ・Ⅲを終えた4年次前学期に開講しており、管理栄養士国家試験の受験資格の必須科目である。専門職業人である管理栄養士を目指す学生が受講しており、学生の到達目標もほぼ同じであるため、本科目に対する達成度が高いことは明らかである。学生の達成度自己評価においても、90%以上の学生が専門的知識・技術の修得ならびに判断する力等において、達成できたと回答している。しかし、試験成績は標準的レベルを達成できた学生が約25%と低いため、学生の達成度自己評価と試験の点数の間に乖離がみられる。しかしこの教科に対する学生の受講意識と自己評価が高いことを鑑みると、講義の内容的妥当性については問題ないものと考え、次年度以降は学生(学年)の理解、修得レベルに合わせた講義進捗と講義内容の検討を試みる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の目標達成状況ならびに内容的妥当性に問題がなかったことから、本科目の内容等についての課題はないものと推察され、今後も引き続き、高い達成度を目標にしたいと考える。また、この演習における図書館、学術データベースの利用が低いため、事前・事後学習に図書館の活用も進めていきたいと考える。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目は、臨地実習Ⅱ・Ⅲを終えた4年次前学期に開講しており、管理栄養士国家試験の受験資格の必須科目である。専門職業人である管理栄養士を目指す学生が受講しており、学生の到達目標もほぼ同じである。学生の成績は普通レベルであるが、達成度自己評価において、大多数の学生が専門的知識・技術の修得ならびに判断する力等において、達成できたことから、講義内容等についての課題はないものとする。今後、より一層の学生の理解を深めるためには、学生の事前事後学習を促すための対策が必要であると思われる。次年度以降も資料配布ならびに確認テストの継続、さらには第1回講義開始前のオリエンテーション時における事前事後学習の推進(今年度もシラバスに沿って授業計画を立てた学生(13%程度)や教員のオリエンテーションに沿って授業計画を立てた学生(12%程度)が少なかったため)、学習法の具体例の提示等、事前事後学習に対し、さらに強化していきたいと考える。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	篠原 征子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
中国語 I	1	前期	選択	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は中国語の基礎知識を学習するものである。初心者にとって外国語は難しい、とくに発音の難しい中国語は、挫折しやすい。授業の実施にあたり大切にしていたことは学習者により学習習慣を身に付けさせ、楽しく学ばせることである。今回の受講動機をみると「関心のある内容である」が85.7%であり、よいスタートであったと感じた。授業ではちょっとハードな発音練習のあと、中国の文化や風習、考え、最新事情なども紹介したりして、学習者のモチベーションを高め、さらに関心を引き付けるようにしている。</p> <p>②開講時に4段階の学習目標や、学習方法を明示し、「学習状況記録表」を作り、学習者に配布し、学習効果を常に確認できるようにした。</p> <p>③各課に漢字テスト、暗記テスト、コミュニケーションを行い、学習者に「わかった、できた、つながった」の学習喜びを感じさせ、間違ったところをしっかりと復習しようという意識を高めるようにした。</p> <p>④各課学習したあと、「マイ・コミュニケーション中国語」のリストを作成させ、モチベーションを高めるようにし、次のステップへ進む準備をさせた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均は88点であり、標準的なレベルに達し、理想的レベルまであと少しであると言える。学生による到達度自己評価において、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値は4.7で、中央値は5.0であり、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値は4.7で、中央値は5.0であった。学生は概ね学習目標到達したと実感していると考え。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性 本科目は「総合人間科学」に属する選択科目という位置にある。この授業で学生により学習習慣を付けさせ、中国語の基礎知識をしっかりと把握させ、分かる、通じるという喜びを感じさせ、中国語大好き人間にさせることが最も重要だと考えて授業を進めた。学生も優秀な成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>②DP、行動目標からみた内容的妥当性 「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」の項目の平均値は4.4、中央値は4.0であり、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」の2項目の平均値と中央値が共に4.0であることからみて、内容的には妥当であったと考え。</p> <p>③自由記述の意見 自由記述から、「中国文化を聞くのが面白かったです」、「先生わかりやすくて大好きです!!」などがあつた。これらの記述からみて、内容的には妥当であったと考え。</p> <p>以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学習者の学習状況を常に確認し、無理のないように授業を進めていた。 今年度は家庭学習の方法についての紹介を行った。学生たちは授業の課題以外に以下の学習を実際に取り組んだ。①発音練習など。②ノートに漢字の練習をしたりCDを聞いた。③時々父と中国語で会話をする。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>「総合人間科学」の一科目として位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できた。 来年度に向けての課題は、来年度の学習者の心理や好みをできるだけ多く把握し、学習者に合った教授法を研究することである。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	杉谷 修一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
道徳教育の理論と実践	2	前期	選択	はい	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>教職課程の必修科目であるため、学生の意識の上では準備がある程度なされていると考える。ただし、小中時代の道徳教育の実施状況から考えて、非常に意識しにくい科目であると予想される。そのため本授業では授業実践としての道徳教育を具体的な形で意識できることをひとつの焦点とした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。 * 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	<p>平均点は75.4点(昨年度は64.3点)、合格率は100%(昨年度は66.7%)であった。平均点を70点程度と予想しており、やや上回っている。秀が15.4%(昨年度は0)、優は7.7%(昨年度40%)であった(15名中)。昨年度は明確に二極化していたが、今年度は全員合格かつ、可が1名であり、学科全体として向上が見られる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>教職課程の必修科目ということ、また従来型の理論偏重の道徳教育ではない実践的アプローチを採用しているということを鑑み、内容的な妥当性はあると考える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方としては(1)道徳とは何かという理論編(2)日本の学校教育における道徳教育の位置づけ(3)学習指導案の構造と授業の実際(4)自分で道徳の授業を組み立てる、というものであった。</p> <p>本年度の栄養学科は特に秀の学生が増えたこと、不合格者がでなかったことで全体的な底上げとなった。このことは受講中の態度にも現れており、時間外での指導に何度も通う学生が見られた。このような学生の努力を授業中に積極的にフィードバックして、他の学生のモチベーションを高めるなどの取り組みが必要となるだろう。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>「上位層については秀の学生を増やすこと、下位層については全体的な底上げが今後の課題である。」というのが前年度のリフレクションカードのまとめであった。今年度はこの点についてある程度満足できる結果となった。次年度は7割を締める良の学生を少しでも優や秀へと引き上げることにある。そのためには、学生自身が教職への明確な意識をもって授業参加することが不可欠である。授業内容だけでなく、教師を目指すことを考える機会となるような授業を心がけたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	近藤 憲一郎

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
特別活動論	3	前期	選択	はい	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>① 受講動機として、88.9%の受講生が「栄養教諭免許の取得のため」と回答し、選択科目にもかかわらず進路上の選択から「必修科目である」と受け止めている受講生が22.2%（重複回答あり）、さらに「関心がある内容である」11.1%（重複回答あり）という状況である子を踏まえ、できるだけ栄養教諭を想定した事例等の準備を行うなど、受講への興味関心を醸成しようと考え、資料や事例等の選択・取扱いのできるだけ工夫し手受講への興味関心を高めるよう努めた。</p> <p>② 昨年度と同様、授業の最初に小・中・高等学校時代の特別活動の思い出を記述する時間を確保するとともに、互いに思い出を交流し合うことを通じて、特別活動への様々な思い出に触れさせ、特別活動への興味関心を深めるよう受講動機の強化を図った。</p> <p>③ 10回の講義後、これまでの講義から誘発された問題意識の中からテーマを設定したレポートを提出するよう課題を与えて、これまでの学習状況を振り返るようにした。また、その際、レポートの記述の参考となるレポート事例資料を配布し、課題追及への興味関心とレポートの質的向上を図った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均点は81.6点であり、再試対象者はいなかった。「理想的レベル(概ね80点以上)」に達した受講生は66.7%であり、「やや不満足なレベル(60点～69点)の受講生はいなかった。受講生による到達度自己評価及び授業の質的評価においては、いずれの項目においても中央値は3以上であり、到達度自己評価の平均値は、3.2～3.7、授業の質的評価の平均値は、3.4～4.0であった。今後とも、これらの向上に向けて、できるだけ分かりやすく具体的資料や事例、場面等の選択・取扱いに工夫する必要があると思われる。</p>					
* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、栄養教諭免許の取得には必修の内容であるが、受講生も満足する成績を収めていることから内容的妥当性には問題はないと思われる。今後とも、免許取得を前提として受講している受講生の希望にさらに応えることができるよう工夫することが求められている。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>図書館利用については、観点(1)と(2)においてはほとんどの受講生が利用しなかったと回答している。一方、(3)のインターネットの利用については半数以上が利用したと回答している。このような資料収集・活用の偏り是正に向け、(1)の図書館の利用、(2)の学術データベースの利用促進への指導・助言、働きかけを強化していくことが必要と思われる。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>特別活動の特質、目標、内容等についての基礎的知識の形成については十分達成することができたと思われるが、なお一層の具体的資料や指導の実際の事例提供について工夫が求められている。その背景には、本科目の受講生には、中等教育の英語教諭(学級担任)を目指す者と、初等、中等教育における養護教諭と栄養教諭を目指す者とが共に受講していることがある。そのため、特別活動の具体的な指導のあり方について、受講生の興味関心をできるだけ高めるための調整を図りつつ、さらなる工夫が求められている。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	栄養学科
氏名	甲斐 達男

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
微生物学	3	前期	必修	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機は例年どおりで、「必修科目である」が100%に近く、「関心のある内容である」は5%未満と、極めて低いレベルに留まっている。授業を通じて、できるだけ学術的な興味と関心を引き出せるように努めた。</p> <p>②例年どおり、教科書の内容を要領よくまとめたプリントを中心に授業を進める。理解を深めやすく解説手順や話し方に留意し、また、記憶する要点を簡潔明瞭に示すことによって学習の便宜を図った。</p> <p>③管理栄養士国家試験にとって重要科目であるので、国家試験で重要視されている箇所については、特に時間をかけて解説を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<p>①本試験合格者は84名(93%、昨年は89%)、成績は秀6名(7%)、優27名(30%)、良36名(40%)、可15名(17%)、再試験では6名全員合格であった。本試験の出来・不出来は、これまで試験日程に大きく左右されてきたことから、達成度については本試験と再試験の合格率で判断すべき科目である。その判断に年度差が生じないように、今回を含めてこれまでの試験問題を同一のもので実施してきている。本科目は、難易度の高い科目であるが、今年度の合格率、および、成績はかなり高く、理想的レベルに達していた。</p> <p>②クラス間差については、AクラスとBクラスについて、平均点73:75、標準偏差17:9、分散282:79、秀3名:3名、優15名:12名、良14名:22名、可6名:9名であり、この学年においては大きな差は観られなかった。</p> <p>③国家試験を受験するグループとそうでないグループの双方においても、達成度に差が観られなかった。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性 本科目は「専門応用科目」であるが、「専門基礎科目」と「専門応用科目」をつなぐ要の位置にあり、必修である。授業準備の欄で指摘したように国家試験を受けないことを決めた学生も受講するなど、動機付けに苦慮する面がある。この課題に応えるように工夫し、学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>②DP、行動目標からみた内容的妥当性 例年に比較して、成績がかなり良かったことから、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に
お示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、イン
ターネット利用」学生の意見など

①法律改訂のあった内容については、その改訂の背景について分かりやすく解説することで、より理解を深めることができるように十分に配慮した。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

①基礎科目のなかでも重要なものにあたる本科目の位置づけから、基礎的知識の形成について十分達成できた。

②例年の課題である「免疫についてもう少し理解を深めさせるために時間が必要である」については、講義内容の調整と資料改訂によって改善できた。